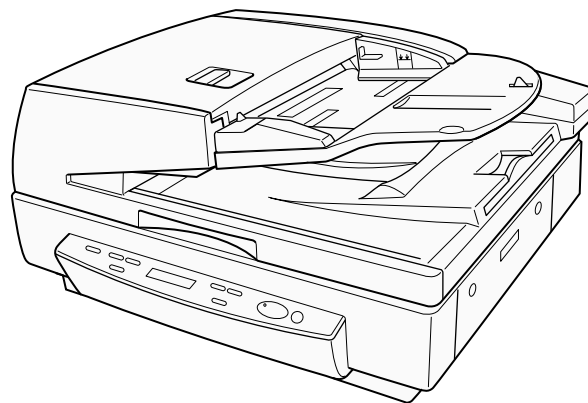


# Canon

 imageFORMULA

# DR-7090C

## ユーザーマニュアル (基本操作編)



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

## ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください。

---

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合にのみソフトウェア製品をご使用いただけます。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともにお買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

### ソフトウェア製品使用許諾契約書

---

キャノン電子株式会社（以下キャノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキャノンまたはキャノンのライセンサーに帰属します。

#### 1. 使用許諾

- (1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキャノンからその使用権を取得することが必要です。

- (2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- (3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

#### 2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを 1 コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置 1 台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

#### 3. 保証

キャノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から 90 日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。この保証は、「許諾プログラム」に関するキャノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

#### 4. サポートおよびアップデート

キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

## 5. 保証の否認・免責

- (1) 第 3 項に定める場合を除き、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。
- (2) キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

## 6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

## 7. 契約期間

- (1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
- (2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- (3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
- (4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- (5) 本契約は、上記 (2)、(3) または (4) により終了するまで有効に存続します。上記 (2)、(3) または (4) により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
- (6) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

## 8. 一般条項

- (1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

## 9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

## 10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口頭によるすべての事前および同時発生の理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合にのみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

## ■ 国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

## ■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

## ■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

## ■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■ 複製についてのご注意

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

## ■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ISIS および MultiStream は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## はじめに

このたびはキヤノンドキュメントスキャナ「imageFORMULA DR-7090C」をお買い求めいただきありがとうございます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

### マニュアルの構成について

本機のマニュアルは、製品に付属している「簡単スタートガイド」と「ユーザーマニュアル基本操作編（本書）」、ソフトウェアのインストールによりプログラムメニューに登録される「ユーザーマニュアル機能詳細編」、「CapturePerfect3.0 操作ガイド」の電子マニュアルで構成されています。

#### 簡単スタートガイド

本機を使えるようにするまでのセットアップの手順について書かれています。本スタートガイドの手順に従って本機をセットアップしてください。

#### ユーザーマニュアル基本操作編（本書）

ユーザーマニュアル機能詳細編（本書）からの抜粋版で、本機の概要と、本機を使用するための基本操作について書かれています。

#### ユーザーマニュアル機能詳細編

「取扱説明書」と「ソフトウェア使用説明書」、「こんなときは」で構成されています。

「取扱説明書」では、本機のセットアップから取り扱い、メンテナンスなど、本機を取り扱う項目について説明しています。

「ソフトウェア使用説明書」では、スキャナを使用するためのスキャナドライバと、ジョブ登録ツールの設定について説明しています。

「こんなときは」では、本機を使用する際のヒントからトラブルシューティングの説明と、本機の仕様、サポート情報について説明しています。

#### CapturePerfect3.0 操作ガイド （電子マニュアル）

キヤノンドキュメントスキャナ専用アプリケーション CapturePerfect3.0 の操作マニュアルです。

#### ヒント

- ユーザーマニュアル機能詳細編と、CapturePerfect 3.0 操作ガイドの電子マニュアルは、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されています。

#### ユーザーマニュアル機能詳細編



#### CapturePerfect3.0 操作ガイド



- すべてのマニュアルの電子マニュアルは、セットアップ CD から閲覧することができます。

---

## マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P. xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

### 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

### 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

### 重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

### ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

---

## 本書の構成について

本書の構成は以下のようになっています。

### 第 1 章 お使いになる前に

DR-7090C の概要について説明します。

### 第 2 章 基本的な使用方法

DR-7090C の基本的な使用方法について説明します。

### 第 3 章 メンテナンス

日常の清掃やローラーの交換等について説明します。

### 第 4 章 こんなときは

メッセージの表示と困ったときの対処方法について説明します。

### 第 5 章 付 録

仕様およびサポート情報について説明します。

---

## 目次

はじめに.....iv	
マニュアルの構成について.....iv	
マニュアル内の表記について.....v	
本書の構成について.....v	
<b>第1章 お使いになる前に</b>	
1. 安全にお使いいただくために.....2	
設置場所について.....2	
輸送用ビス取り外しの確認.....2	
浮き上がり防止プレートの取り付け.....3	
電源について.....3	
本体背面のケーブルの確認.....4	
フィーダの開閉について.....4	
スキャナの移動.....5	
日常の取り扱いについて.....6	
廃棄について.....7	
2. 特長.....8	
3. 各部の名称と機能.....10	
フィーダ部.....10	
フラットベッド部.....10	
背面.....11	
操作パネル.....12	
<b>第2章 基本的な使用方法</b>	
1. 電源のオン.....14	
電源スイッチについて.....14	
2. 原稿について.....15	
原稿の種類.....15	
3. 原稿のセットについて.....16	
フィーダへの原稿のセットについて.....16	
フラットベッドへの原稿のセットについて.....17	
4. 給紙方法について.....19	
給紙方法について.....19	
5. スキャン.....22	
ジョブ機能について.....22	
CapturePerfect 3.0 について.....25	
スキャナの設定ダイアログボックス.....30	
6. 用紙が詰まったとき.....32	
紙づまりの処理.....32	
紙づまりの原因.....34	
7. ユーザーモードについて.....35	
ユーザーモードの機能.....35	
ユーザーモードの設定方法.....36	
<b>第3章 メンテナンス</b>	
1. 日常のお手入れ.....38	
クリーニングクロス、クリーニングペーパーに ついて.....38	
本体の清掃.....38	
原稿台ガラス / 圧着板の清掃.....39	
フィーダ部の清掃.....40	
電源プラグの清掃.....45	
<b>第4章 こんなときは</b>	
1. メッセージ.....48	
ステータス表示.....48	
エラーメッセージ.....48	
2. 困ったときは.....51	
トラブルの種類.....51	
現象と対処方法.....51	
<b>第5章 付録</b>	
1. 仕様.....58	
本体仕様.....58	
消耗品.....59	
外形寸法図.....60	
2. 保証とアフターサービス.....61	
保証とアフターサービス.....61	
サービス&サポートのご案内.....61	
保守サービスのご案内.....62	
3. 索引.....64	





# 第 1 章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために.....	2
設置場所について .....	2
輸送用ビス取り外しの確認 .....	2
浮き上がり防止プレートの取り付け .....	3
電源について .....	3
本体背面のケーブルの確認 .....	4
フィーダの開閉について .....	4
スキャナの移動 .....	5
日常の取り扱いについて .....	6
廃棄について .....	7
2. 特長 .....	8
3. 各部の名称と機能 .....	10
フィーダ部 .....	10
フラットベッド部 .....	10
背面 .....	11
操作パネル .....	12

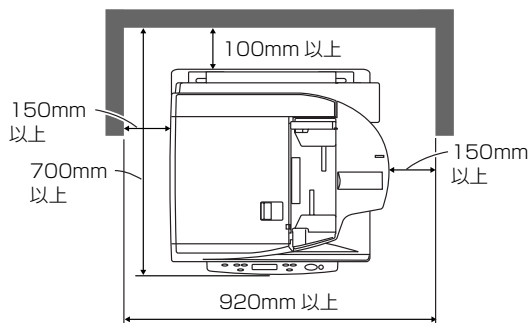
# 1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

## 設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。

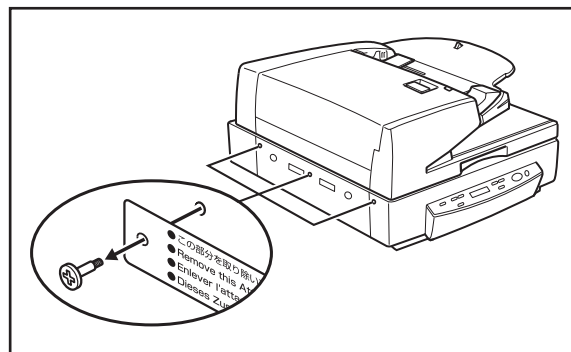


- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりやたばこの煙の多い場所は避けてください。ほこりやたばこの煙は本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。  
室温 15℃—30℃  
湿度 25%—80%RH
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

## 輸送用ビス取り外しの確認

本製品は輸送時の振動等による光学ユニットの破損を防ぐため、出荷時に光学ユニットを3本のビスで固定しています。使用前に、このビスが取り除かれていることを必ず確認してください。

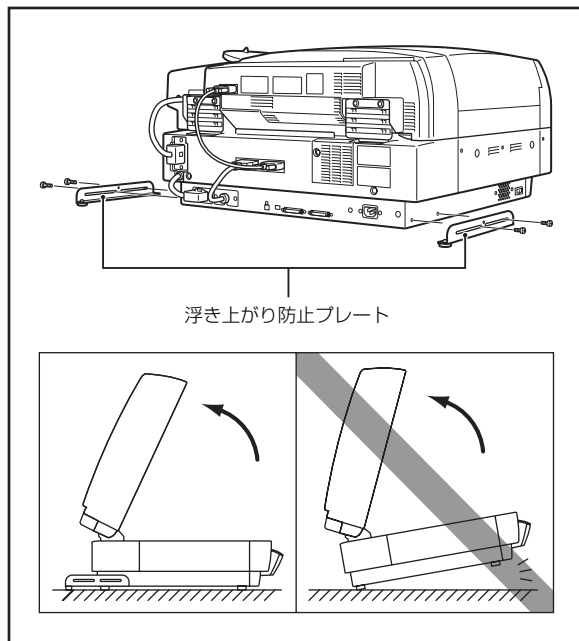


### ⚠ 注意

- 輸送用ビスが取り除かれていない状態でスキャナの電源をオンにすると、エラーコード「E2020001」が表示されます。電源を切り、輸送用ビスをタグと一緒に取り除いてください。
- 輸送用ビスは本機を移動するときに必要です。捨てないで必ず保管してください。

## 浮き上がり防止プレートの取り付け

浮き上がり防止プレートは、フィーダを開いたときに本機の前部が浮き上がることを防止します。本機を使用する前に浮き上がり防止プレートを取り付けてください。

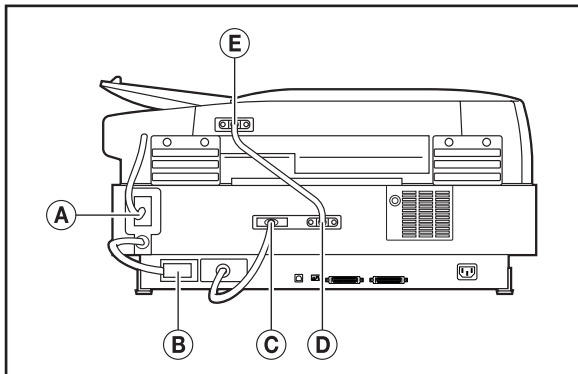


## 電源について

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたり、テーブルや椅子の足に巻きつけたりしないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

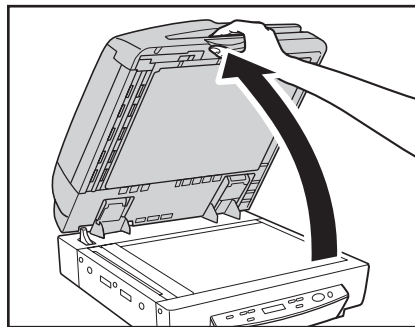
## 本体背面のケーブルの確認

コンピュータと接続する前に本体背面にあるケーブルのコネクタ①～⑤の接続が外れていないことを確認してください。

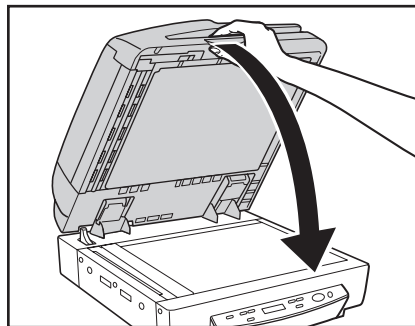


## フィーダの開閉について

- フィーダを開く時は、本機の前面が浮き上がらないように静かに開いてください。



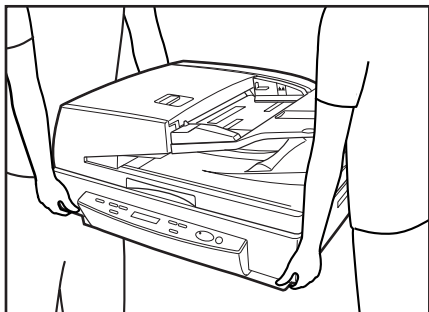
- フィーダを閉じる時は、手を挟まないように静かに閉じてください。



- フィーダを開いたときに本体の手前側が浮き上がらないように、浮き上がり防止プレートを取り付けて使用してください。(→ P.3)

## スキャナの移動

- 本製品は、質量が約 41kg あります。本製品を持ち上げたり移動させるときは、必ず両側から 2 人で持ち、絶対に 1 人で持ち上げたりしないでください。落としたり手をはさんだりして大ケガをすることがあります。また、移動の際は十分注意して移動させてください。

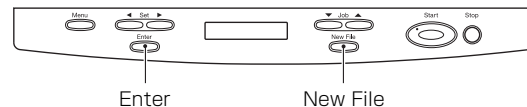


- スキャナを移動する場合は、インターフェイスケーブルや電源コードを必ず外してください。ケーブル類を接続したまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷したり、本体を落としてけがをする原因になります。

## ■ 輸送用ビスの取り付けについて

取り外した輸送用ビス（3 本）は、本製品を移動するとき、光学ユニットを固定するために使用します。このとき、次の手順で光学ユニットを固定位置に戻してから輸送用ビスを取り付けます。

1. 電源コードを接続します。
2. Enter キーと New File キーを押しながら電源スイッチをオンにします。（→ P.12）



3. Enter キーと New File キーを押し続け表示パネルに「デンゲンヲ キツテクダサイ」が表示されたら電源スイッチをオフにします。

デ`ンケ`ンヲ キツテクダ`サイ

4. 輸送用ビス（3 本）で光学ユニットを固定します。

## 日常の取り扱いについて

### ⚠ 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- リール式の延長コードを使用するときは全てのコードを引き出して使用してください。コードをリールに巻き込んだ状態で長時間使用した場合、発熱や火災の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 清掃する箇所によっては電源をオンにした状態で行うことがあります。感電に十分注意して清掃をおこなってください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

■ 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

■ 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ■ 心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本製品から微弱な磁気が発生しています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

### ⚠ 注意

■ ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■ 通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ スキャナの上には、コップ、花瓶など水の入った容器、クリップ、ステーブルの針、ネックレスなどの金属を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

■ 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

■ 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

■ いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。
- スキャナの動作中に上部ユニットを開かないでください。故障、けがの原因になります。
- スキャナのコネクタ部のピンや接点部分に直接手で触れないでください。故障の原因になります。
- フィーダを開く時は、本機の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。故障、けがの原因になります。
- フィーダを閉じる時は、手を挟まないように静かに閉じてください。故障、けがの原因になります。
- フラットベッドに厚い本などをセットしてスキャンするときは、フィーダを上から強く押さえ付けしないでください。フラットベッドのガラスが破損して故障、けがの原因になります。
- フラットベッドのガラスの上には、スキャンする原稿以外のものを乗せないでください。故障、けがの原因になります。

---

## 廃棄について

- 本機および付属品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

## 2. 特長

本機の主な特長は以下のとおりです。

### スキャナ本体の特長

- **高速スキャン**  
フィーダにより A4 サイズの原稿を、最大 70 枚/分の高速でスキャンします。
- **両面同時スキャン**  
フィーダで両面原稿を読み取る場合、おもて面と裏面を同時に読み取ります。  
ユーザーモードで長尺モードを [ON] にした場合は、おもて面と裏面を片面ずつ読み取ります。
- **フラットベッド**  
薄紙やすべりの悪い原稿、雑誌や綴じられた原稿など、フィーダで読み取ることのできない原稿をフラットベッドで読み取ります。
- **100 枚給紙**  
給紙トレイには、普通紙で最大 100 枚の原稿を一度にセットできます。
- **多様な読み取りモード**  
読み取りモードとして、「白黒」、「誤差拡散」、「アドバンスドテキストエンハンスメント」、「アドバンスドテキストエンハンスメント II」、「256 階調グレー」、「24 ビットカラー」の 6 種類の読み取りモードが用意されています。  
\* アドバンスドテキストエンハンスメントは、原稿の背景や地色を処理して文字を読みやすくなるモードです。
- **カウントオンリーモード**  
スキャナ単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。
- **長尺モード**  
ユーザーモードの設定により、最大 630mm までの長さの原稿を自動サイズ検知でスキャンすることができます。

- **ジョブ機能**  
スキャン条件、画像ファイルの保存先をジョブに登録し、操作パネルのキー操作のみでスキャンを実行することができます。  
(→ P.22 「ジョブ機能について」)
- **ユーザーモード**  
ユーザーモードの各機能により、スキャナの機能を任意に変更することができます。ユーザーモードの設定および詳細についてはユーザーマニュアル（機能詳細編）を参照してください。

### 検知機能

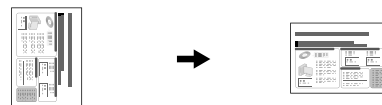
- **自動原稿サイズ検知**  
スキャンした原稿のサイズを検知してスキャンします。



定型サイズでスキャン

自動サイズ検知でスキャン

- **文字向き検知**  
原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を 90 度単位で回転します。



横向きの原稿  
(縦置きでスキャン)

文字向きを検知した画像

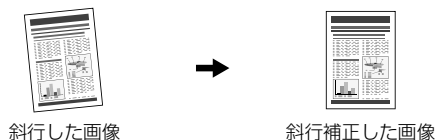
- **重要**  
文字向き検知機能は原稿の種類によっては機能しない場合があります。



## 画像処理

### ● 斜行補正

スキャンした画像から原稿が斜めに搬送されたと判断したときに、画像をまっすぐに補正します。



斜行した画像

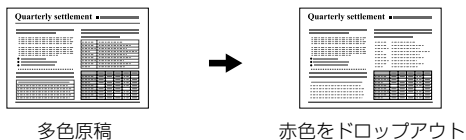
斜行補正した画像

### ❗ 重要

原稿の一部分の領域を指定してスキャンした場合、斜行補正が正しく機能しない場合があります。

### ● ドロップアウト / 色強調機能

スキャン時に赤、青、緑色から 1 色を指定して読み取らないようにするドロップアウト機能または、指定した色を強調する機能を備えています。

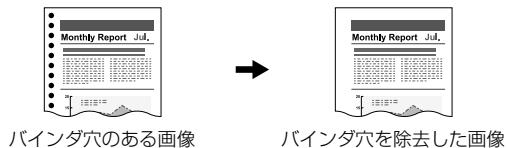


多色原稿

赤色をドロップアウト

### ● バインダ穴除去

バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を除去します。

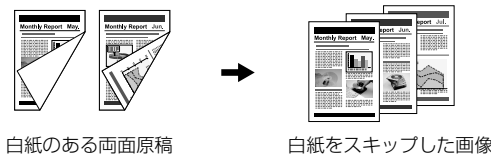


バインダ穴のある画像

バインダ穴を除去した画像

### ● 白紙スキップ

原稿の両面をスキャンして、白紙として判断した面の画像の保存をスキップします。

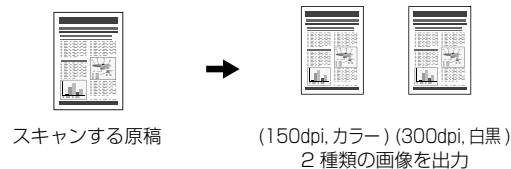


白紙のある両面原稿

白紙をスキップした画像

### ● マルチストリーム機能

用途に合わせて読み取り条件の異なる 2 つの画像を 1 回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能は本機に付属している「CapturePerfect3.0」または、お使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。



スキャンする原稿

(150dpi, カラー) (300dpi, 白黒)  
2種類の画像を出力

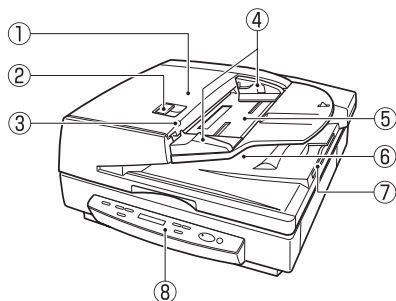
### ● パッチコード対応

原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うことができます。

### 3. 各部の名称と機能

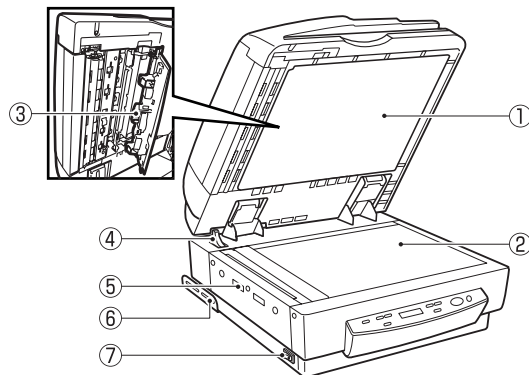
各部の名称と機能は以下のとおりです。

#### フィーダ部



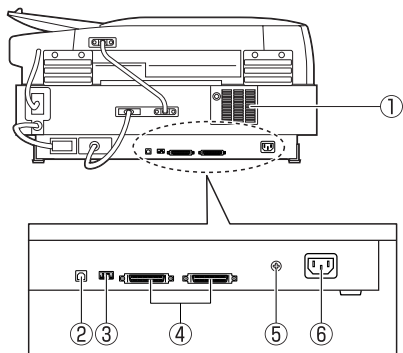
- ① **フィーダカバー**  
原稿が詰まったときやローラの清掃時に開きます。
- ② **開閉レバー**  
フィーダカバーの開閉レバー。
- ③ **原稿セット表示**  
原稿給紙トレイに原稿がセットされると点灯します。また、紙詰まりが起きたときには点滅状態になります。
- ④ **スライドガイド**  
原稿サイズラベルに合わせて位置を調整します。
- ⑤ **原稿給紙トレイ**  
原稿をセットします。
- ⑥ **原稿排紙トレイ**  
読み取った原稿が排紙されます。排紙された原稿は、原稿給紙トレイを上に向けて取り除きます。
- ⑦ **排紙補助トレイ**
- ⑧ **操作パネル** (→ P.12)

#### フラットベッド部



- ① **圧着板 (黒)**  
フラットベッドに置いた原稿を押さえます。
- ② **フラットベッド (原稿台ガラス)**  
原稿を左奥の矢印マークに合わせてセットします。
- ③ **読み取り部清掃具**  
フィーダ内の読み取り部を清掃するときに使用します。
- ④ **開閉検知センサ**  
フィーダの開閉を検知します。
- ⑤ **通気孔**
- ⑥ **浮き上がり防止プレート**  
フィーダを開いたときに本機の前部が浮き上がることを防止します。(→ P.3)
- ⑦ **電源スイッチ**

## 背面



### ① 通気孔

### ② USB コネクタ

Hi-Speed USB2.0 に対応した USB ケーブルを接続します。

### ③ ディップスイッチ

SCSI ID およびターミネータのオン / オフを設定します。

### ④ SCSI コネクタ

SCSI ケーブル：ハーフピッチ 50 ピン（ピンタイプ）を接続します。

### ⑤ アース端子

同梱のアース線を接続します。

### ⑥ 電源コネクタ

同梱の電源コードを接続します。

## ⚠ 注意

- 背面にあるケーブル類には手を触れないでください。ケーブルが外れた場合、本機の故障の原因になります。
- 通気孔をふさがしないでください。スキャナの内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

## ■ SCSI ID とターミネータの設定

SCSI コネクタと電源コネクタの間にあるディップスイッチで、SCSI ID とターミネータを設定します。

設定の詳細はユーザーマニュアル（機能詳細編）を参照してください。

SCSI ID	SW1	SW2	SW3
0	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF
3	ON	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON
5	ON	OFF	ON
6	OFF	ON	ON
7	ON	ON	ON

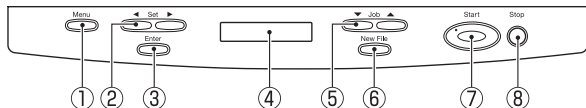
SCSI ID は上の表を参考にして設定してください。

他の SCSI 機器がコンピュータに接続および内蔵されている場合は、SCSI ID が重ならないように注意してください。

## ⚠ 重要

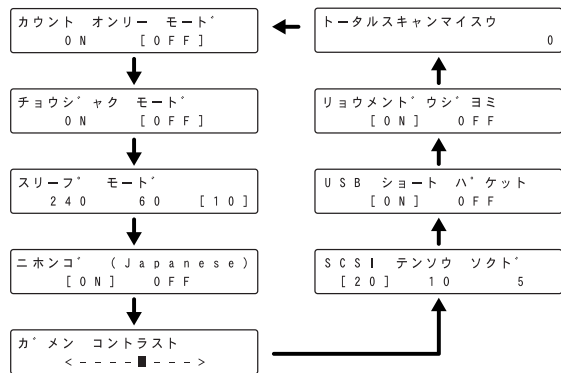
- SCSI ID は、出荷時の状態では「2」に設定されています。
- SCSI ID は、0～7 が設定できますが、通常 7 は SCSI コントローラに割り当てられていますので使用しないでください。また、SCSI 接続のハードディスクが内蔵されている場合、通常 0 と 1 はハードディスクに割り当てられていますので使用しないでください。

## 操作パネル



### ① Menu キー

このキーを押すと、表示パネルにユーザーモードが表示され、繰り返し押すと、ユーザーモードが切り替わります。



### ② Set キー

ユーザーモードの設定を変更します。

### ③ Enter キー

ユーザーモードの変更を確定します。

### ④ 表示パネル

スキャンした原稿の枚数やエラーコードなどが表示されます。

### ⑤ Job キー

登録されているジョブ (01 ~ 99) を表示します。

ジョブが表示された状態で Start キーを押すと、原稿の読み取りが行われ、読み取った画像がジョブに登録された送信先に送られます。

### ⑥ New File キー

アプリケーションが「バッチ区切り」に対応している場合に有効です。このキーを押して、またはアプリケーションのバッチ区切り設定によりこのキーが点灯します。この状態で次の原稿をスキャンすると、スキャン結果の画像が前の原稿とは別のファイルやフォルダに保存されます。

### ⑦ Start キー

Count Only キーまたはアプリケーションの設定で Start キーが有効になると LED が点灯します。このとき Start キーを押してスキャンを開始します。

### ⑧ Stop キー

スキャンを途中で停止させます。

設定したモードの解除や、カウンタ表示部のエラー表示を解除するときにも使用します。

## 第 2 章 基本的な使用方法

1. 電源のオン.....	14
電源スイッチについて.....	14
2. 原稿について.....	15
原稿の種類.....	15
3. 原稿のセットについて.....	16
フィーダへの原稿のセットについて.....	16
フラットベッドへの原稿のセットについて.....	17
4. 給紙方法について.....	19
給紙方法について.....	19
5. スキャン.....	22
ジョブ機能について.....	22
CapturePerfect 3.0 について.....	25
スキャナの設定ダイアログボックス.....	30
6. 用紙が詰まったとき.....	32
紙づまりの処理.....	32
紙づまりの原因.....	34
7. ユーザーモードについて.....	35
ユーザーモードの機能.....	35
ユーザーモードの設定方法.....	36

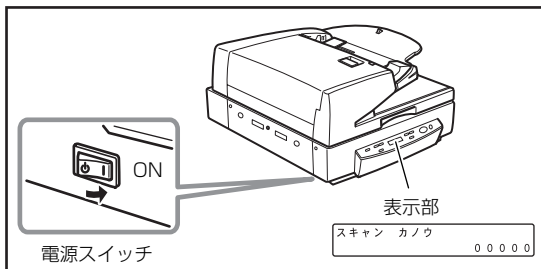
# 1. 電源のオン

---

本機の電源のオンについて説明します。

## 電源スイッチについて

電源スイッチは本機の側面下部にあり、電源スイッチをオンにすると表示部が以下の表示になります。(→ P.48)



### ❗ 重要

- SCSI ケーブルで接続している場合は、必ずスキャナ→コンピュータの順に電源をオンにしてください。コンピュータの電源を先にオンにするとスキャナを正常に認識できない場合があります。
- 電源をオフにするときは、電源スイッチを再度押してオフにします。
- 電源をオフし、再度電源をオンするときは 10 秒以上待ってから電源をオンにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 2. 原稿について

ここでは、フィーダにセットできる原稿の種類について説明します。

### ⚠ 注意

原稿は慎重に取り扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

### 原稿の種類

フィーダ部に給紙できる原稿のサイズは次のとおりです。

幅： 139.7～298.1mm

長さ： 128～431.8mm（通常モード）  
128～630mm（長尺モード）

厚さ： 白黒原稿の場合

- 片面原稿 42～128g/m<sup>2</sup> (0.06～0.15mm)
- 両面原稿 50～128g/m<sup>2</sup> (0.07～0.15mm)
- 白黒/カラー原稿混載時 50～128g/m<sup>2</sup> (0.07～0.15mm)

カラー原稿の場合

- 64～128g/m<sup>2</sup> (0.08～0.15mm)
- 432mmを超える原稿
- 60～90g/m<sup>2</sup>

スキャンする原稿によっては、次のような注意が必要です。

- 長尺紙をスキャンする場合は、ユーザーモードで「チョウジャクモード」を [オン] にして1枚ずつスキャンしてください。
- インクが乾いていない原稿をスキャンすると、内部が汚れたりつまったりして故障の原因になります。必ず乾かしてからスキャンしてください。
- 鉛筆などで書かれた原稿をスキャンすると、鉛筆の文字が消えたり、ローラーが汚れて他の原稿を汚したりすることがあります。このような原稿の場合は、複写機でコピーしたものをスキャンしてください。万一、このような原稿をスキャンした場合には、スキャンしたあとにローラーの清掃を必ず行ってください。（→ P.40 「フィーダ部の清掃」）
- 薄い紙の両面原稿をスキャンすると裏うつりすることがあります。読み取り明るさを調整してください。

- すべりが悪い原稿をスキャンすると、摩擦で搬送エラーが起こることがあります。その場合は、読み取り面の設定を「フラットベッド」にし、1枚ずつスキャンしてください。
- 感圧紙の束をスキャンするときは、原稿をよくさばいてからスキャンしてください。また、搬送エラーが起こる場合は、読み取り面の設定を「フラットベッド」にし、1枚ずつスキャンしてください。
- 次のような原稿をスキャンすると、紙づまりや原稿の破損、およびスキャナの故障の原因になりますので注意してください。このような原稿の場合は、フラットベッドで1枚ずつスキャンしてください。



しわや折り目が入っている。



裏カーボン紙。



カール（巻き付け）がある。



表面がコーティングされている。



破れている。



極端に薄い。



クリップやステイブルの針が付いている。



### ヒント

- 紙厚、サイズの異なる原稿を混載した場合、搬送に支障をきたすこともありますので、ご注意ください。
- 原稿の端から5mm以内に文字・絵がある場合や、地色のついた原稿の場合、斜行補正・自動サイズ検知の誤検知が発生することがあります。

### 3. 原稿のセットについて

ここでは、フィーダおよびフラットベッドへの原稿のセットについて説明します。

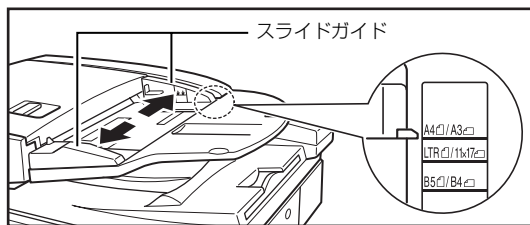
#### ⚠ 注意

原稿は慎重に取り扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

#### フィーダへの原稿のセットについて

原稿をフィーダ部にセットする場合、次の手順で行ないます。

1. スライドガイドの凸部を原稿サイズラベルの位置に合わせます。

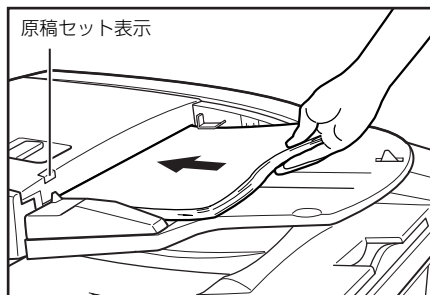


#### ⚠ 重要

スライドガイドは必ず左右のガイドを両手で操作してください。片方のガイドだけで操作した場合、故障の原因になります。

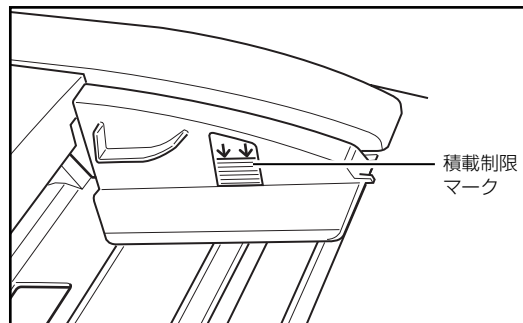
2. 原稿をそろえ、読み込む面を上向きにして原稿給紙トレイの上にセットします。

原稿は、原稿セット表示が点灯するまで奥までつき当ててください。

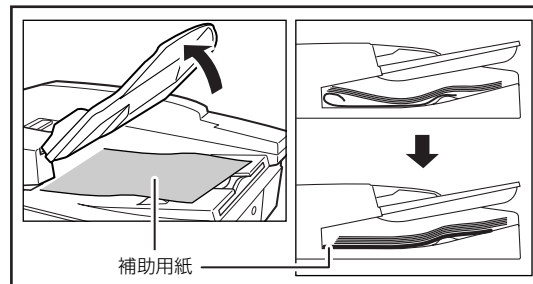


#### ⚠ 重要

- フィーダ部の積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙つまりの原因になります。
- フィーダ部に原稿をセットできる枚数は一般的なコピー用紙 (80g/m<sup>2</sup>) で約 100 枚です。

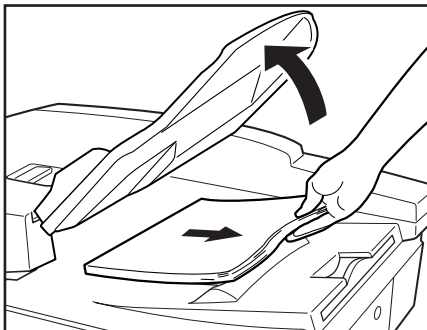


- A3などの大きいサイズの感圧紙や非常に紙厚の薄い原稿の場合、まれに排紙部で原稿が引っ掛かり、丸まることがあります。このようなときは、原稿が引っ掛からないように排紙トレイに補助用紙を置いて、読み取りを行なってください。





3. 読み取りが終了したら給紙トレイを持ち上げて原稿を取り除きます。



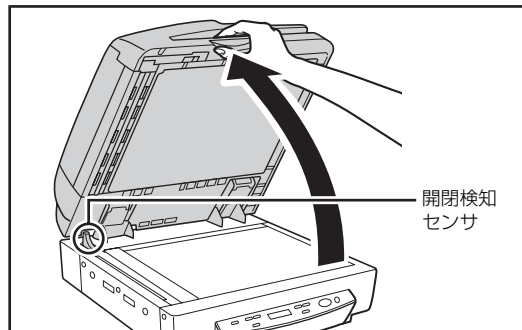
**！重要**

- 読み込みが終了した原稿は、順次排紙トレイから取り除いてください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。
- 給紙トレイは必要以上に持ち上げないでください。無理に持ち上げると破損の原因になります。

## フラットベッドへの原稿のセットについて

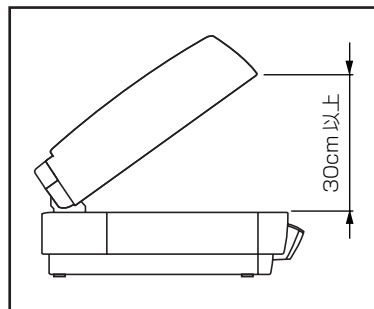
ブック原稿や厚手の原稿、薄手の原稿、OHP フィルムなどフィーダ部でスキャンできない原稿を読み込む場合は、フラットベッドに原稿をセットしてスキャンします。

1. フィーダを開きます。

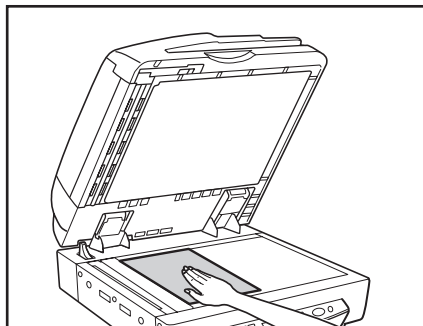


**！重要**

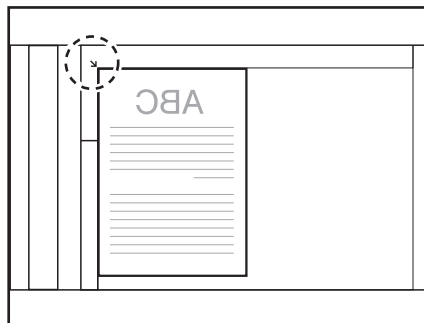
- フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。
- 本機にはフィーダの開閉検知センサが装着されています。原稿台ガラスに原稿をセットする場合には、フィーダをセンサから離れる位置まで（約 30cm）開いてください。



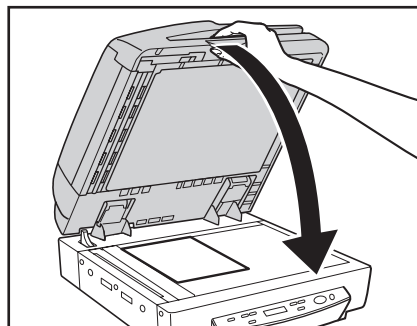
2. 読み込む面を下にして、原稿をセットします。



原稿は読み込む面を下にして、原稿台ガラス面の左奥（矢印マーク）に原稿の角を合わせてセットします。



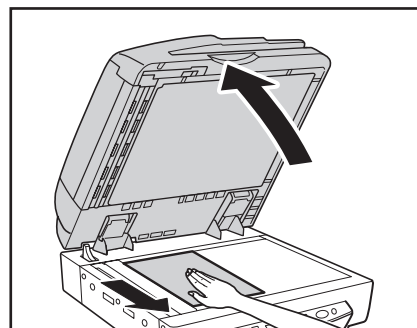
3. フィーダを静かに閉じます。



**⚠ 注意**

- フィーダは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- 厚いブック原稿などをフィーダで強く押さないでください。原稿台ガラスが破損して、負傷する恐れがあります。

4. フィーダを開き、読み取りが終了した原稿を原稿台から取り除きます。



**❗ 重要**

フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

## 4. 給紙方法について

ここでは、給紙方法の違いによる基本的なスキャンの手順について説明します。

### ▲ 注意

- スキャナを操作するときは、ゆったりとした服装は避け、装飾品など操作中のスキャナに引っ掛かりそうなものを身につけないでください。スキャナに巻き込まれてけがの原因になることがあります。とくにネクタイや長い髪などご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて機械を停止してください。
- 原稿をセットする前に、クリップやステイプルの針などが紛れ込んでいないかどうか必ず確認してください。万一紛れ込んでいると、原稿の破損、紙づまり、スキャナの故障の原因になります。
- スキャン中は、フィーダカバーに手を触れないでください。原稿の破損、紙づまり、スキャナの故障の原因になります。

### 給紙方法について

給紙方法には以下の3種類があり、スキャナの設定画面の「給紙オプション」(→ P.30)で選択します。原稿をスキャンする手順は、給紙方法によって異なります。

#### 標準給紙 (→ P.19)

スキャンの開始/終了をアプリケーションから指示する給紙方法です。

原稿をセットした状態で、コンピュータからスキャン開始の指示をするとスキャンが始まります。

#### パネル給紙 (→ P.20)

フィーダで原稿を続けてスキャンする場合や、ブック原稿などを1枚ずつめくりながらスキャンするときなどに便利な給紙方法で、原稿をセットしたらスキャナ本体のStartキーを押してスキャンを開始します。

原稿のスキャンが終わったら、次の原稿をセットしてStartキーを押すと、スキャンが継続されます。

#### 自動給紙 (→ P.21)

フィーダで原稿の束を続けてスキャンする場合などに便利な給紙方法で、給紙トレイに置かれた原稿をスキャナが検知すると自動的にスキャンが開始されます。

原稿台の原稿が無くなるとスキャンが中断し、次の原稿の束をセットするとスキャンが継続されます。

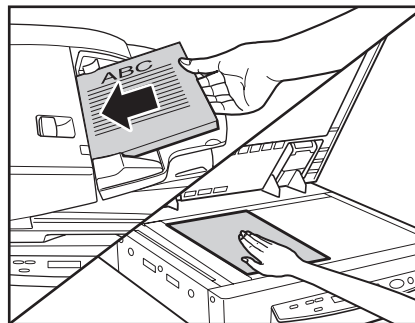
### 💡 ヒント

- フラットベッドを使用するときはスキャナの設定画面で読み取り面を「フラットベッド」または「自動」にします。
- スキャナの設定画面で読み取り面を「自動」に設定した場合、フィーダに原稿がセットされているとフィーダの原稿をスキャンし、フィーダに原稿がないときはフラットベッドをスキャンします。

### ■ 標準給紙

標準給紙では、スキャンの開始/終了をアプリケーションからの指示で行いません。

1. スキャナの設定画面で、給紙オプションを「標準給紙」に設定します。
2. 原稿をセットします。



### ❗ 重要

原稿のセット方法については、16 ページ「原稿のセットについて」を参照してください。

3. アプリケーションでスキャン開始の指示をします。  
スキャンが始まります。
4. 原稿をスキャンするとアプリケーションが待機状態になります。

### 💡 ヒント

読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

5. さらに原稿がある場合は、原稿をセットして、アプリケーションでスキャン 継続の指示をします。スキャンを終了する場合は、スキャン中止の指示をします。

### ❗ 重要

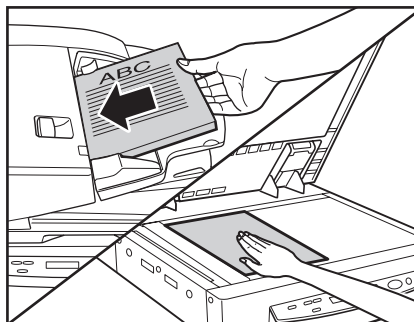
フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

## ■ パネル給紙

パネル給紙では、アプリケーションでスキャンの開始を指示した後、スキャナの Start/Stop キーによりスキャンを行います。

1. スキャナの設定画面で、給紙オプションを [パネルで給紙] に設定します。
2. アプリケーションでスキャン開始の指示をします。  
Start キーのランプが緑になります。

## 3. 原稿をセットします。



### ❗ 重要

原稿のセット方法については、16 ページ「原稿のセットについて」を参照してください。

4. Start キーを押します。
5. 原稿をスキャンすると待機状態になります。

### 💡 ヒント

読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。

6. 残りの原稿がある場合は、原稿をセットして、Start キーを押します。スキャンを終了する場合は、Stop キーを押します。

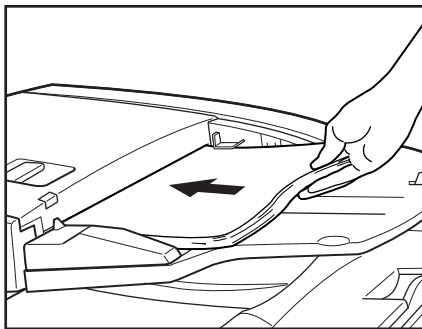
### ❗ 重要

フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

## ■ 自動給紙

自動給紙は、フィーダ部でスキャンする場合に選択でき、アプリケーションでスキャンの開始を指示した後、スキャナが原稿のセットを検知するとスキャンがスタートします。

1. スキャナの設定画面で、給紙オプションを [自動給紙] に設定します。
2. アプリケーションでスキャン開始の指示をします。  
Start キーのランプが緑になります。
3. 原稿をセットします。



スキャナが原稿を検知して、スキャンが始まります。

### ❗ 重要

原稿のセット方法については 16 ページ「原稿のセットについて」を参照してください。

4. 原稿をすべてスキャンすると待機状態になります。
5. 給紙トレイを持ち上げてスキャンした原稿を取り除きます。

### ❗ 重要

フィーダでスキャンする場合、排紙トレイに残っている原稿を取り除いてからスキャンを行なってください。排紙トレイに原稿を残したまま次の原稿を読み取ると、紙づまりの原因になります。

6. 原稿を続けてセットすると、自動的にスキャンが再開されません。スキャンを終了する場合は、Stop キーを押します。

### 💡 ヒント

読み取り面が [自動] で給紙オプションを [自動給紙] にした場合、以下の動作でスキャンを行います。

- フィーダに原稿をセットすると原稿を検知してスキャンを行います。
- Start キーのランプが点灯し、フラットベッドは待機状態になります。フラットベッドに原稿をセットして Start キーを押すと、フラットベッドの原稿をスキャンします。

## 5. スキャン

本機のスキャン方法には、本機に付属の「CapturePerfect3.0」などのスキャニングアプリケーションでスキャンする他に、操作パネルの操作でスキャンを実行する「ジョブ機能」があります。

本項では、「ジョブ機能」と「CapturePerfect3.0」の概略について説明します。

### ❗ 重要

- コンピュータのメモリを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足が表示されたときはアプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- メモリを消費する条件には以下の設定があります。メモリ不足になったときはこれらの設定を見直してください。  
モード (24ビットカラー)、解像度 (600dpi)、用紙サイズ (自動検知)、斜行補正

### ジョブ機能について

ジョブ機能は、「ジョブ登録ツール」でジョブを登録し、操作パネルの Job キーで登録したジョブを選択 / 実行してスキャンを行う機能です。

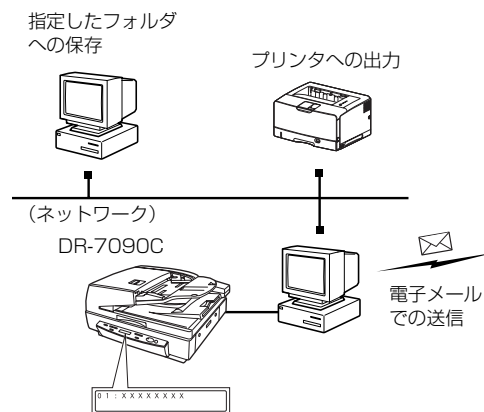
ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されます。

### 💡 ヒント

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションで詳細については、ユーザーマニュアル機能詳細編「第7章 ジョブ登録ツールの設定」を参照してください。

ジョブ機能には以下の機能があり、ジョブ登録ツールを使用して登録します。

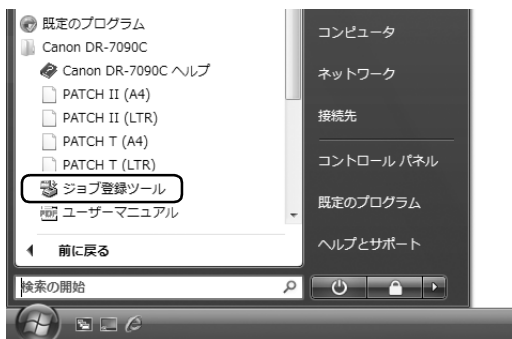
- 共有フォルダなど指定したフォルダへの保存
- 電子メールに添付して送信 (メールソフト不要)
- 指定したプリンタへの出力



### ■ ジョブの実行

ジョブ登録ツールで登録したジョブは、以下の手順で実行します。

1. イベント機能を設定します。(→ P.24 「イベント機能の設定」)
2. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Canon DR-7090C] - [ジョブ登録ツール] をクリックします。



ジョブ登録ツールが起動します。



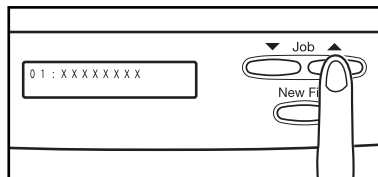
### 3. ジョブ登録ツールでジョブを登録します。



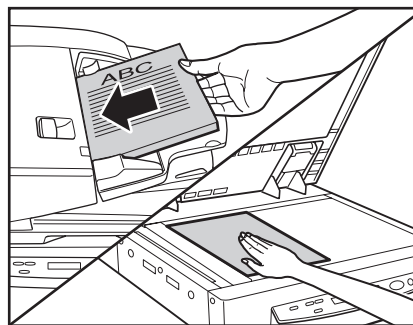
#### ヒント

ジョブ登録ツールの登録方法についてはユーザーマニュアル機能詳細編「第7章 ジョブ登録ツールの設定」を参照してください。

4. Job キー (▲) を押して「ジョブモード」にします。  
表示パネルにジョブ No. が表示されます。



5. Job キー (▲, ▼) を押してジョブ No. (01 ~ 99) を選択します。
6. 原稿をセットします。



#### 重要

原稿のセット方法については 16 ページ「原稿のセットについて」を参照してください。

7. Start キーを押します。  
選択したジョブにしたがって画像ファイルが転送されます。
8. 原稿のスキャンが終わったら、Stop キーを押して「ジョブモード」を解除します。



#### ヒント

ジョブモードが正常に動作しない場合、51 ページ「困ったときは」を参照してください。

## ■ イベント機能の設定

ジョブ機能は、スキャナのイベント機能で [DR7090C Job Tool] が指定されていないと機能しません。ジョブ機能を使用する前に、以下の手順でスキャナのイベントの設定を行なってください。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックします。



2. [スキャナとカメラ] をダブルクリックします。



[スキャナとカメラ] のダイアログボックスが表示されます。

### 💡 ヒント

表示されるダイアログボックスは、お使いの Windows によって異なります。

3. [Canon DR-7090C] を選択し、[プロパティ] を表示します。



4. [イベント] タブをクリックします。



5. [スキャナイベント] を [Job Start Button] にします。



6. [次のアプリケーションに送る] で [DR-7090C Job Tool] 以外のチェックを全てはずします。



7. [適用] ボタンをクリックします。

**!** 重要

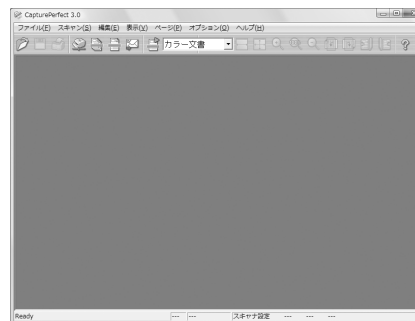
「デバイスのイベントを実行しない」チェックボックスをチェックすると、ジョブ機能が使用できなくなりますので注意してください。

8. [OK] ボタンをクリックします。

9. Windows を再起動します。

## CapturePerfect 3.0 について

CapturePerfect 3.0 は、キヤノンドキュメントスキャナ専用の ISIS 互換アプリケーションです。CapturePerfect 3.0 の詳細については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。

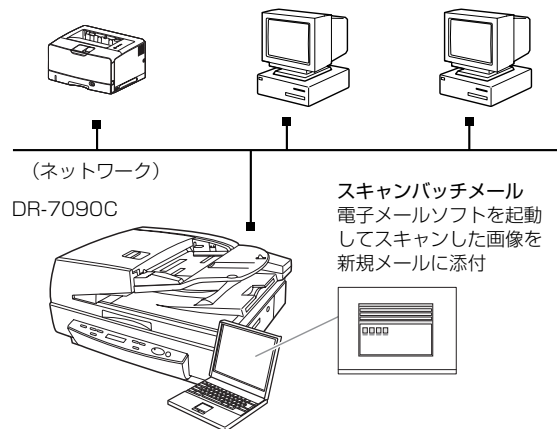


### ■ CapturePerfect のスキャン方法

CapturePerfect 3.0 には以下のスキャン方法がありスキャンメニューからスキャン方法を選択して実行します。

**スキャンバッチプリント**  
スキャンした画像を指定したプリンタで印刷

**スキャンバッチファイル**  
スキャンした画像を指定したフォルダへ保存



## スキャンバッチファイル

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。

## スキャンバッチプリント

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

## スキャンバッチメール

設定した読み取り条件でスキャンを行い、MAPI に対応した電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

## スキャン 1 ページ

原稿を 1 枚スキャンして終了します。

## スキャンジョブ

ジョブ機能と同様に、読み取り条件とスキャン方法(スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール)をあらかじめジョブとして登録しておき、スキャンジョブの実行は、ツールバーからジョブを選択 (①) → 実行 (②) の 2 つの操作で行います。



### ヒント

スキャンジョブにはあらかじめ以下の2つのジョブが登録されており、最大 99 個のジョブを登録することができます。

- カラー文書  
原稿を 24 ビットカラー、片面 300dpi でスキャンし、画像ファイルを [マイピクチャ] フォルダに PDF 形式で保存します。
- 白黒文書  
原稿を白黒、片面 200dpi でスキャンし、画像ファイルを [マイピクチャ] フォルダに PDF 形式で保存します。

## スキャンバッチプレゼンテーション

小型のスキャナをプレゼンテーションの会場などに持ち込み、大型ディスプレイやプロジェクタが接続された環境で使用する場合に適したモードで、CapturePerfect を全画面表示に切り替えてスキャンを行い、スキャンした画像をディスプレイに表示します。

### ヒント

DR-7090C など、大型のスキャナでの使用には適していません。

## ■ CapturePerfect の操作手順

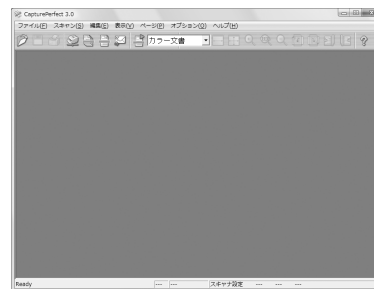
CapturePerfect 3.0 の起動から「スキャンバッチファイル」でのスキャン手順について説明します。

その他のスキャン方法の手順については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。

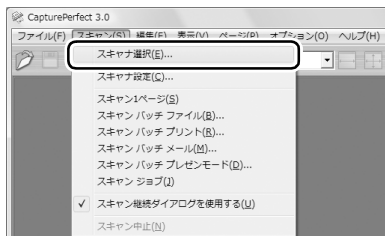
1. [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[CapturePerfect3.0]-[CapturePerfect3.0] をクリックします。



CapturePerfect3.0 が起動します。



2. [スキャン] メニューから [スキャナ選択] をクリックします。

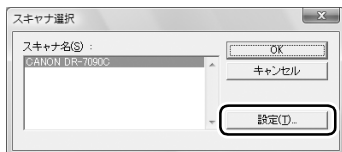


[スキャナ選択] ダイアログボックスが表示されます。

### 💡 ヒント

DR-7090C を使用するためには、使用するアプリケーションで使用するスキャナとして DR-7090C を選択する必要があります。スキャナを選択方法は使用するアプリケーションによって手順が異なるので、使用するアプリケーションの使用説明書を参照してスキャナを選択を行ってください。

3. [Canon DR-7090C] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。

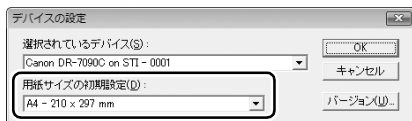


[デバイスの設定] ダイアログボックスが表示されます。

### ❗ 重要

[Canon DR-7090C] が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバのインストールをやり直してください。

4. 用紙サイズの初期値を設定します。



### ❗ 重要

ISIS ドライバの設定ダイアログボックスで [初期値] ボタンをクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。

5. [OK] をクリックしてスキャナの選択を終了します。

6. スキャンメニューから [スキャンバッチファイル] をクリックします。



スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスが表示されます。

7. [スキャナ設定] ボタンをクリックし、スキャナの設定を行います。



スキャナの設定ダイアログボックスが表示されます。



8. 読み取り条件を設定します。(→ P.30 「スキャナの設定ダイアログボックス」)

9. 保存するファイル名、ファイル形式を指定します。

スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスのその他の設定については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。

10. 原稿をセットし、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。

### ！ 重要

読み取り条件の【読み取り面】と【給紙オプション】の設定によって、原稿のセットが以下のようになります。

- 給紙オプションが【標準給紙】のときはスキャンを開始する前に原稿をセットし、原稿が無くなると「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。

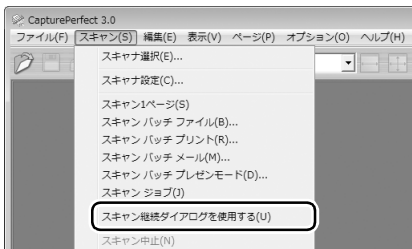


- 給紙オプションが【自動給紙】、【パネルで給紙】の場合、スキャンを開始したとき給紙トレイに原稿がセットされているとスキャンを行い、原稿がセットされていない時は待機状態になります。
- 給紙オプションが【自動給紙】の場合、給紙トレイのセンサーが原稿のセット検知する度にスキャンを行い、Stop キーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。
- 給紙オプションが【パネルで給紙】の場合、Start キーのランプが点灯します。原稿をセットして Start キーを押すとスキャンを行い、Stop キーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。
- 読み取り面が【自動】で給紙オプションを【自動給紙】にした場合、以下の動作でスキャンを行います。
  - フィーダに原稿をセットすると原稿を検知してスキャンを行います。
  - Start キーのランプが点灯し、フラットベッドは待機状態になります。フラットベッドに原稿をセットして Start キーを押すと、フラットベッドの原稿をスキャンします。

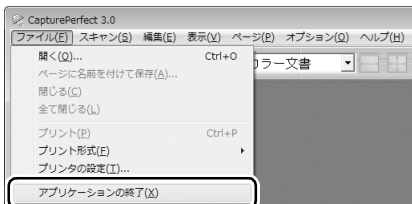
11. [スキャン継続] ダイアログボックスが表示したら、原稿の有無を確認し、[スキャン継続] または [スキャンストップ] をクリックします。

 ヒント

[スキャン] メニューの「スキャン継続ダイアログを使用する」にチェックがない場合、「スキャン継続」ダイアログボックスを表示しないでスキャンを終了します。



12. スキャンが終了したら [ファイル] メニューから [アプリケーションの終了] を選択して CapturePerfect を終了させます。



## スキャナの設定ダイアログボックス

スキャナの設定ダイアログボックスは、以下の設定ダイアログボックスで構成され、使用するアプリケーションによって機能の一部が異なります。詳細はユーザーマニュアル機能詳細編を参照してください。

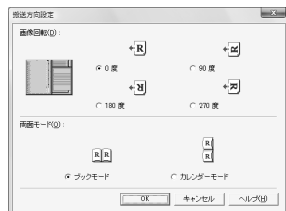
**基本設定ダイアログボックス**  
読み取りの基本設定を行います。



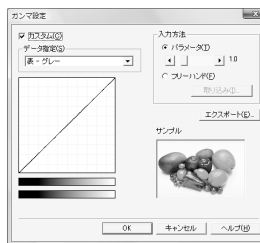
**詳細設定ダイアログボックス**  
スキャンした画像の処理方法を設定します。



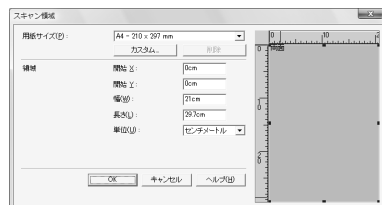
**搬送方向設定ダイアログボックス**  
原稿の向きに合わせて設定します。



**ガンマ設定ダイアログボックス**  
スキャンした画像の色合いを調整します。



**領域設定ダイアログボックス**  
スキャンする領域を指定します。



**[その他の設定] ダイアログボックス**  
給紙オプション、バッチ区切りの設定や、スキャン前のプレスキャンの設定を行います。



## ■ 読み取りの基本条件の設定について

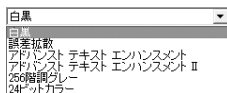
読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「モード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



### モード

スキャンするモードを選択します。

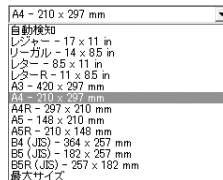


#### 💡 ヒント

「アドバンスドテキストエンハンスメント」は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。

### 用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。

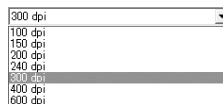


#### 💡 ヒント

「自動検知」を選択すると、原稿のエッジを検出して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

### 解像度

スキャンする解像度を選択します。

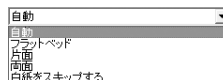


#### 💡 ヒント

解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。

### 読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



#### 💡 ヒント

- フラットベッドでスキャンするときは、読み取り面を「フラットベッド」または「自動」にします。
- 読み取り面が「自動」のときはスキャン開始時に給紙トレイに原稿があるとフィーダでスキャンし、給紙トレイに原稿がないときはフラットベッドをスキャンします。
- 読み取り面を「白紙スキップ」にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

## 6. 用紙が詰まったとき

フィーダでスキャン中にスキャンが停止し、表示部に以下のメッセージが表示されたときは、フィーダ内に原稿が詰まっています。次の手順にしたがって、詰まった用紙を取り除いてください。

カミカ<sup>®</sup> ツマリマシタ  
P x x x

### 💡 ヒント

- 紙づまりが起きるとフィーダカバーの「原稿セット表示」が点滅します。
- エラーコード [Pxxx] は紙づまりを検知した位置により数字が変わります。

### 紙づまりの処理

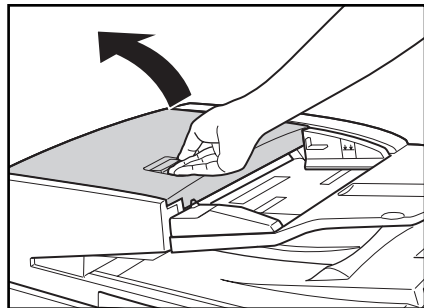
#### ⚠ 警告

- 紙づまりを取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。また、原稿を破損することがあります。
- 詰まった用紙はすべて取り除いてください。破れた用紙などが機械内部に残っていると、引き続き用紙が詰まったり、故障の原因になります。
- フィーダを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

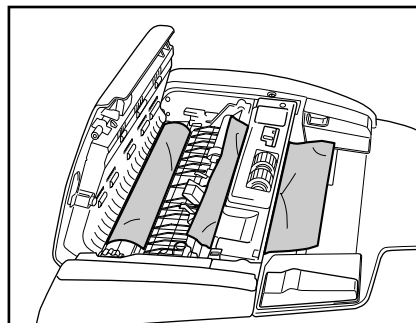
1. 給紙トレイや排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。

2. フィーダカバーを開きます。

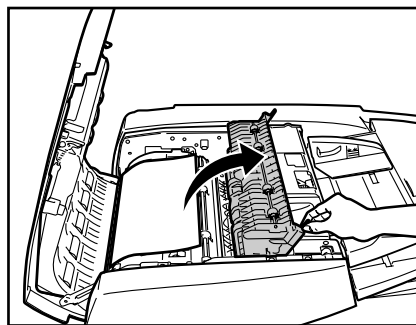
開閉レバーを起こし、フィーダカバーが止まるまでゆっくりと開きます。



3. つまっている原稿の位置を確認します。

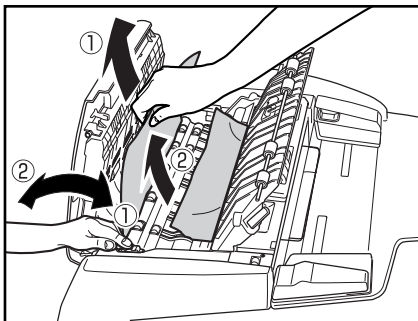


4. 原稿が、搬送ガイドの下に詰まっている場合は、手前のつまみを持って搬送ガイドを開きます。





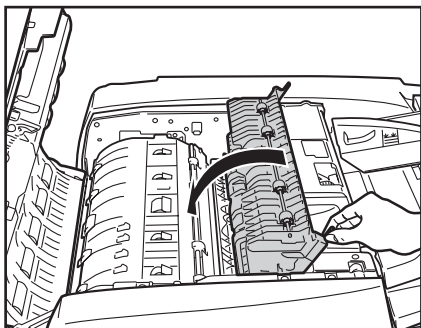
## 5. 手前のダイヤルを回して、つまっている原稿を取り除きます。



## 💡 ヒント

- ダイヤルを右①に回すと、つまっている原稿が上に戻されます。ダイヤルを回しながら原稿の端を持って取り除いてください。
- ダイヤルを左②に回すと、つまっている原稿が排紙トレイに送られます。給紙トレイを上げて排紙トレイにある原稿を取り除いてください。

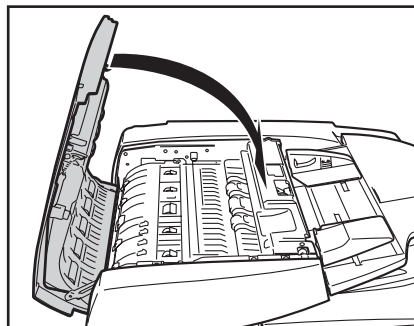
## 6. 搬送ガイドを閉じます。



## ⚠️ 注意

搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

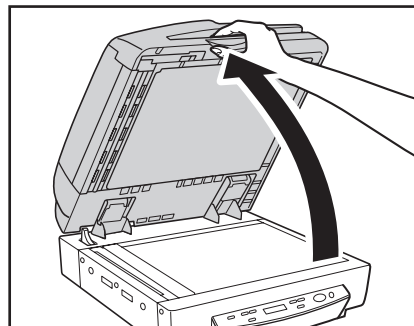
## 7. フィーダカバーを閉じます。



## ⚠️ 注意

フィーダカバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

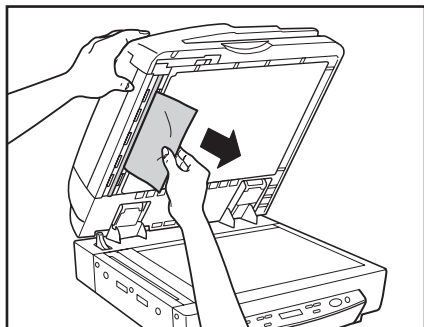
## 8. フィーダを開きます。



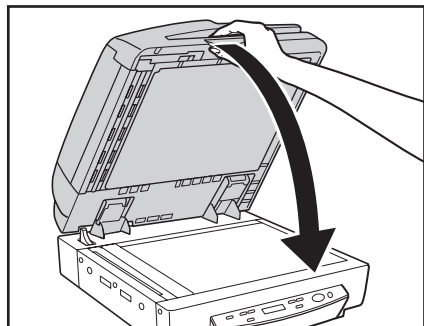
## ⚠️ 注意

フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

## 9. つまっている原稿を取り除きます。



## 10. フィーダを閉じます。



### **⚠** 注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

## 紙づまりの原因

フィーダ部で紙づまりが発生する原因には、次のような原因が考えられます。以下に示す方法で対処してください。

- 原稿のサイズ・紙厚が、フィーダで扱える範囲内かどうか、また原稿の紙質などが不適切でないかどうか確認してください。原稿についての注意事項は、15 ページ「原稿について」を参照してください。
- 原稿のすべりが悪いために給紙エラーが起きている可能性があります。フラットベットで、1 枚ずつスキャンしてください。(→ P.17)
- 本体内部のローラーが汚れたり、摩耗していたりすると、紙づまりが発生します。ローラーが汚れている場合は清掃してください(→ P.40)。ローラーが摩耗している場合はローラーの交換が必要です。担当サービスまでご連絡ください。

## 7. ユーザーモードについて

本スキャナでは、以下の各モードについて、ユーザで設定することができます。

### ユーザーモードの機能

ユーザーモードには以下の機能があります。

#### ■ カウントオンリーモード

カウ ント   オンリー   モード<sup>°</sup>  
0 N            [ 0 F F ]

[ON]: スキャン単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。

[OFF]: 通常モードです。(出荷時の設定)

#### ■ 長尺モード

チョウシ<sup>°</sup>   ャク   モード<sup>°</sup>  
0 N            [ 0 F F ]

[ON]: 用紙サイズを自動検知にしたときに最大630mmまでの長さの原稿を検知します(→P.15「原稿について」)

[OFF]: 用紙サイズを自動検知にしたときに432mmまでの長さの原稿を検知します(出荷時の設定)

#### ! 重要

**長尺モードを使用する場合、以下の点について注意してください。**

- アプリケーションが長尺モードに対応していない場合、長尺モードは使用できません。
- ISIS/TWAIN ドライバを次のように設定してください。次の設定以外では、正常にスキャンできないことがあります。
  - 基本設定ダイアログボックス (→「ユーザーマニュアル機能詳細編」 P.6-5)
    - [用紙サイズ]: 「自動検知」
  - 搬送方向設定ダイアログボックス (→「ユーザーマニュアル機能詳細編」 P.6-10)
    - [画像回転]: 「90度」
    - [両面モード]: 「カレンダーモード」

– 詳細設定ダイアログボックス (→「ユーザーマニュアル機能詳細編」 P.6-11)

[文字向検知] チェックボックス: オフ

- 長尺モードを設定してスキャンした場合、処理速度が遅くなる場合があります。
- 長尺モードを [ON] にすると両面スキャンをする場合に、両面同時読みの設定に関係なくおもて面とうら面を片面ずつ読み取ります。
- 長尺モードを使用する場合、原稿が傾いてセットされるとスキャナの給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには充分注意してください。
- 長尺モードを使用する場合、紙詰まりの検知が遅れ原稿を破損する場合があります。紙詰まりには充分注意してください。
- 432mm 以上の原稿をスキャンするときは1枚ずつセットしてスキャンしてください。

#### ■ 省電力モード

スリーフ<sup>°</sup>   モード<sup>°</sup>  
2 4 0            6 0            [ 1 0 ]

[240]: 4時間操作しないときに省電力モードに移行します。

[60]: 1時間操作しないときに省電力モードに移行します。

[10]: 10分間操作しない時に省電力モードに移行します(出荷時の設定)

#### ■ 表示言語の変更

ニホンコ<sup>°</sup>            ( J a p a n e s e )  
[ 0 N ]            0 F F

[ON]: 表示パネルを日本語で表示します。(出荷時の設定)

[OFF]: 表示パネルを英語で表示します。

#### ■ 画面コントラストの調整

カ<sup>°</sup>   メン   コントラスト  
< - - - - ■ - - - - >

Set キーで■を右に動かすと表示パネルが明るくなり、左に動かすと暗くなります。

## ■ SCSI 転送速度の設定

S C S I	テンソウ	ソクト <sup>*</sup>
[ 2 0 ]	1 0	5

SCSI インターフェースの同期転送速度の最大値を設定します。

[20]: 20MByte/sec (Ultra SCSI) (出荷時の設定)

[10]: 10MByte/sec (First SCSI)

[5]: 5MByte/sec. (非同期)

出荷時の設定 [20MByte/sec.] でスキャナが正常に動作しない場合、転送速度を [10MByte/sec.] または [5MByte/sec.] に下げてください。

## ■ USB ショートパケットの設定

U S B	ショート	ハ <sup>*</sup> ケット
[ O N ]	O F F	

USB ショートパケットの設定を変更します。(出荷時の設定: ON)

コンピュータに標準装備されている USB インターフェースでスキャナが正常に動作しない場合、ショートパケットの設定を [OFF] にして使用してください。

### ❗ 重要

SCSI 転送速度、USB ショートパケットの設定を変更した場合には、スキャナ本体の電源を入れ直してください。

## ■ 両面同時読み取りの設定

リョウメント <sup>*</sup> ウシ <sup>*</sup> ヨミ
[ O N ] O F F

原稿給紙トレイにセットした原稿を両面スキャンするときの読み取り方法を設定します。

[ON]: 原稿の両面を同時にスキャンします。(出荷時の設定)

[OFF]: 原稿のおもて面を読み取ってから、自動反転させて裏面をスキャンします。

## ■ トータルスキャン枚数

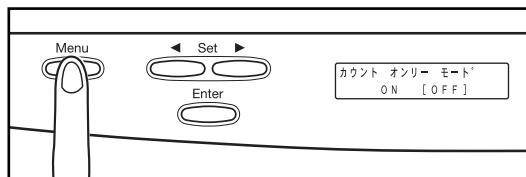
トータルスキャンマイスウ
0

本機が用紙を搬送した総枚数を表示します。

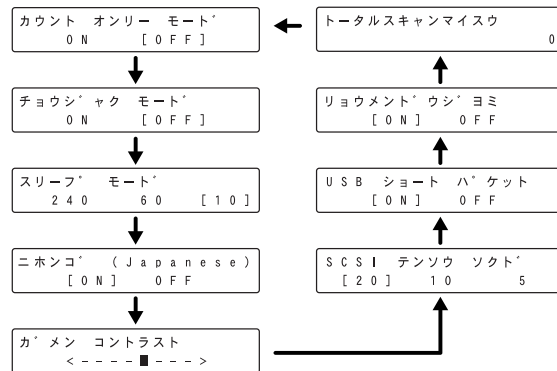
## ユーザーモードの設定方法

ユーザーモードは操作キーを以下のように押して設定します。

### 1. Menu キーを押してユーザーモードを表示させます。



Menu キーを繰り返し押すと、ユーザーモードが切り替わります。



2. Set キー (◀, ▶) を押して設定を変更します。

3. Enter キーを押して設定を確定させます。

4. 設定が完了したら Stop キーを押してユーザーモードを終了します。

## 第3章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ.....	38
クリーニングクロス、クリーニングペーパーに ついて.....	38
本体の清掃.....	38
原稿台ガラス / 圧着板の清掃.....	39
フィーダ部の清掃.....	40
電源プラグの清掃.....	45

# 1. 日常のお手入れ

---

本機の読み取り品質を維持するために、次の箇所を定期的に清掃を行ってください。

- 本体
- 原稿台ガラス
- 圧着板
- フィーダ部

## ⚠ 注意

- 清掃の前には、コンピュータとスキャナの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が入ったまま清掃をすると感電の原因となります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性の有機溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、スキャナの外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。
- 読み取りガラス部分に水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。
- 清掃の際に、水で濡らしすぎると原稿の破損やスキャナ本体の故障の原因になります。

---

## クリーニングクロス、クリーニングペーパーについて

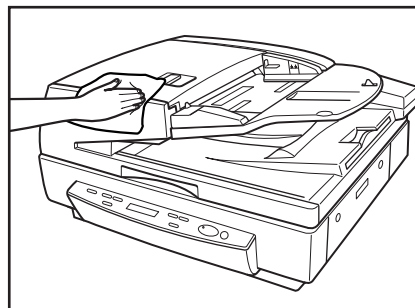
本体に付属のクリーニングクロスとクリーニングペーパーは以下の用途に使用します。

- クリーニングクロス  
読み取りガラスやローラーの清掃に使用します。
- クリーニングペーパー  
圧着板の裏に収納されている読み取り部清掃具に取り付けて使用します。(→ P.43、44)

---

## 本体の清掃

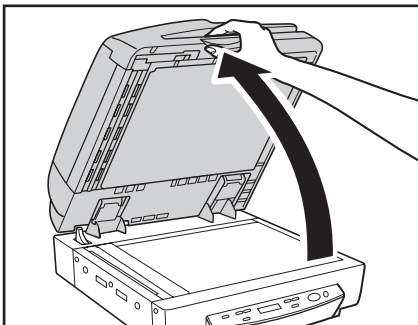
本体表面は、水または中性洗剤を含ませて固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布でから拭きをします。



## 原稿台ガラス / 圧着板の清掃

原稿台ガラスや圧着板が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知することがあります。原稿台ガラスや圧着板は定期的に清掃してください。

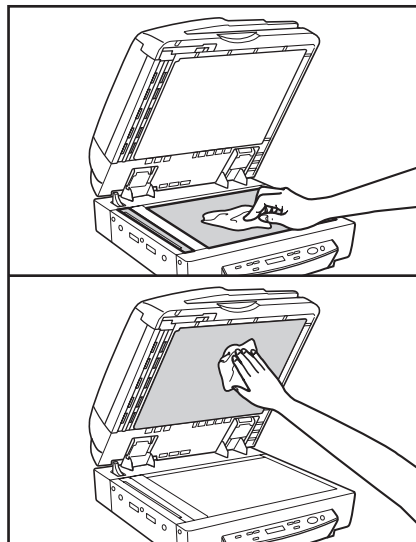
### 1. フィーダを開きます。



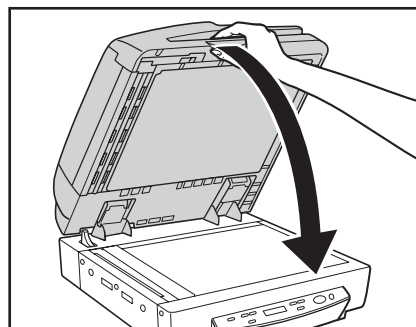
#### ⚠ 注意

フィーダはスキャナ本体の前部が浮き上がらないように静かに開いてください。けがの原因になることがあります。

### 2. 原稿台ガラスと原稿読み取り部ガラス（細長いガラス）圧着板を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布で、から拭きします。



### 3. フィーダを閉じます。



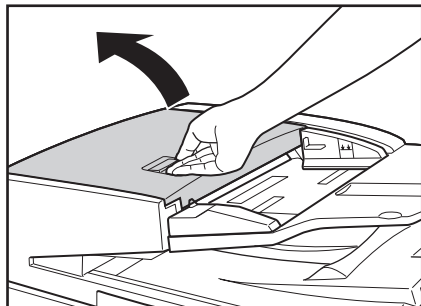
#### ⚠ 注意

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

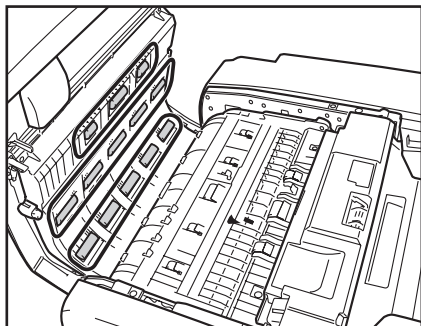
## フィーダ部の清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れたりする場合は、フィーダ内部にあるローラーや読み取りガラスが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

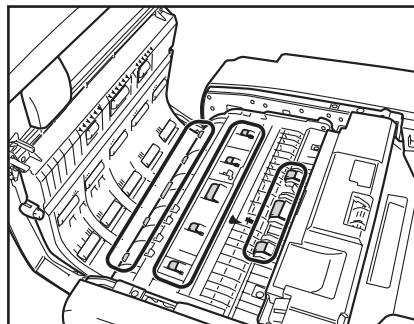
1. フィーダカバーを開きます。



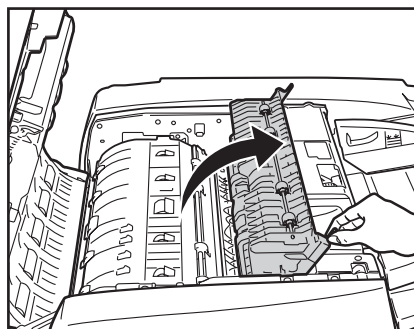
2. フィーダカバー裏側のローラー（13 か所）を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。



3. 本体側のローラー（13 か所）を水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布でから拭きします。

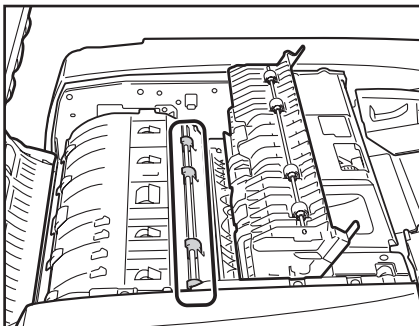


4. 手前側のつまみを持って、搬送ガイドを開きます。

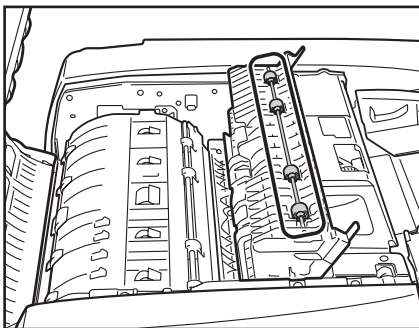




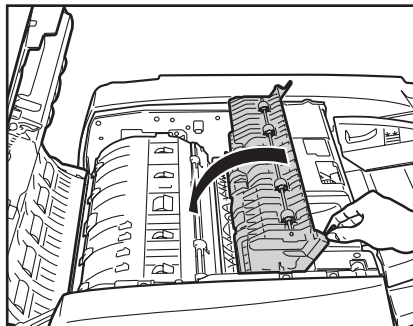
5. ローラー（4か所）を、水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布で拭き拭きます。



6. ローラー（4か所）を、水を含ませて固くしぼった布で清掃したあと、きれいな乾いた布で、から拭き拭きます。



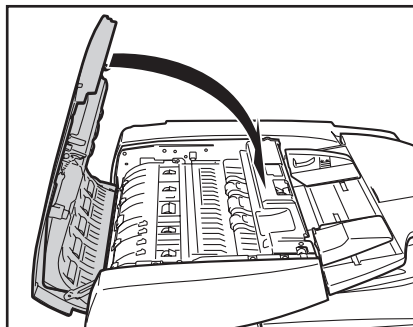
7. 搬送ガイドを閉じます。



**▲ 注意**

搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

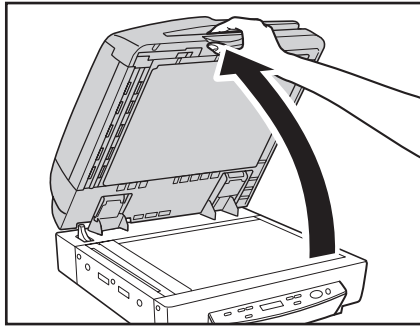
8. フィーダカバーを閉じます。



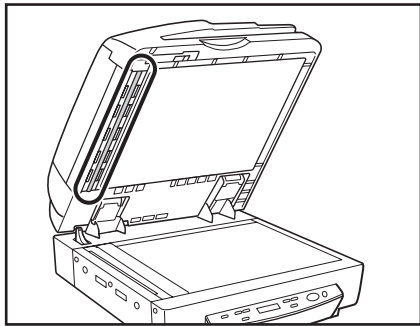
**▲ 注意**

フィーダカバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9. フィーダを開きます。

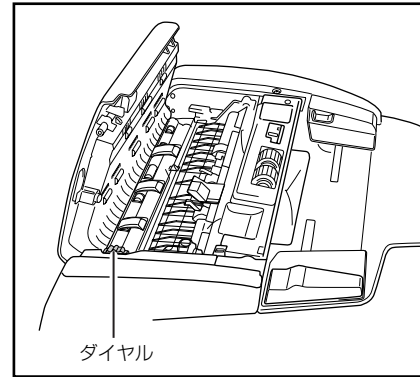


10. 搬送ローラー（白色）とプラテンローラー（黒色）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布で拭きします。

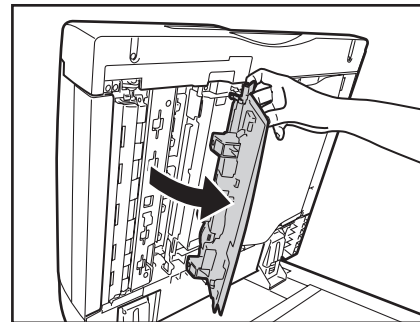


❗ 重要

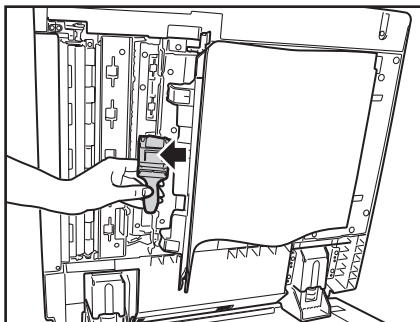
フィーダカバーを開き、手前にあるダイヤルを回すとプラテンローラーが回転します。  
プラテンローラーを清掃するときはプラテンローラーを少しずつ回転させながら清掃してください。



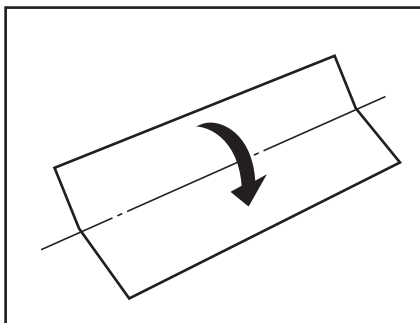
11. フィーダ上部のレバーを引いてフィーダ原稿読み取り部のカバーを開けます。



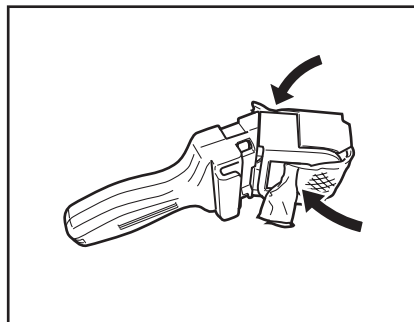
12. カバーの内側から読み取り部清掃具を取り出します。



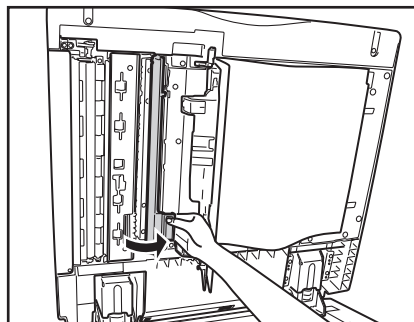
13. クリーニングペーパーをビニール袋から1枚取り出して2つ折りにします。



14. クリーニングペーパーを読み取り部清掃具に取り付けます。



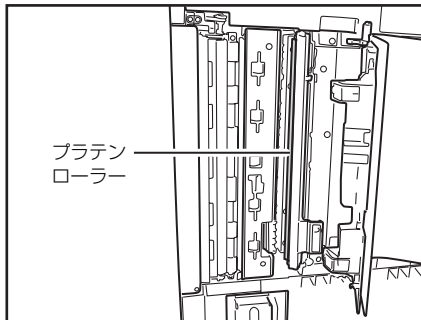
15. 内側のカバーを開けます。



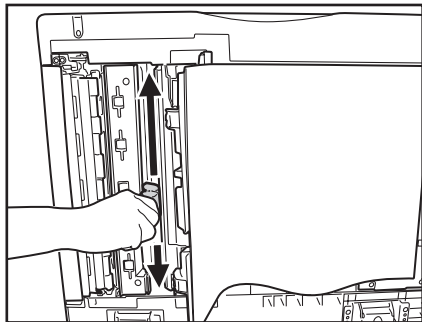
16. 内側のカバーの裏にあるプラテンローラーを、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。

**❗ 重要**

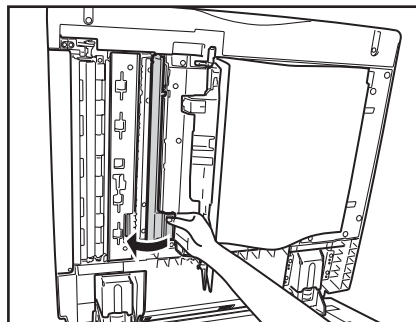
プラテンローラーを清掃するときはプラテンローラーを少しずつ回転させながら清掃してください。



17. レールに沿って、フィーダの原稿読み取り部を清掃します。



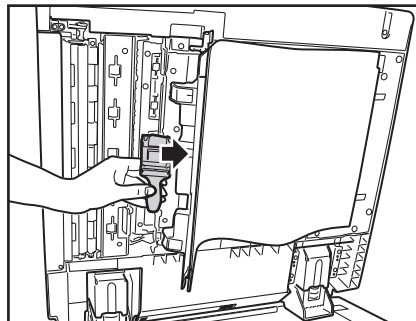
18. 内側のカバーを閉めます。



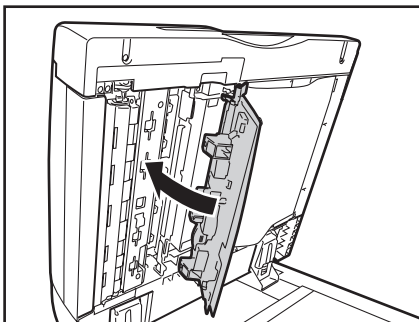
**⚠ 注意**

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

19. 読み取り部清掃具からクリーニングペーパーを取り外し、内側のカバーにセットします。



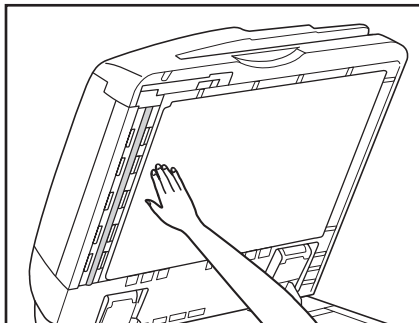
20. フィーダ原稿読み取り部のカバーを閉めます。



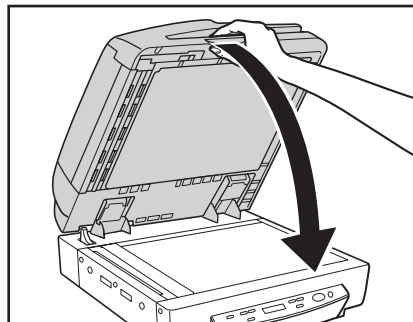
**⚠ 注意**

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

21. カバーの中央部を押します。カチッと音がしてカバーが確実に閉じたことを確認してください。



22. フィーダを閉じます。



**⚠ 注意**

フィーダは、手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

### 電源プラグの清掃

電源プラグは、長期間コンセントに接続したままにすると、コンセントの接続部分にほこりがたまり、火災や感電の原因となります。定期的に清掃してください。



## 第4章 こんなときは

1. メッセージ.....	48
ステータス表示.....	48
エラーメッセージ.....	48
2. 困ったときは.....	51
トラブルの種類.....	51
現象と対処方法.....	51

# 1. メッセージ

表示パネルに表示されるメッセージには、スキャナの状態を表示する「ステータス表示」と、スキャナにトラブルが発生した時に表示する「エラーメッセージ」があります。

## ステータス表示

スキャナの状態によって表示パネルには以下のメッセージが表示されます。

### ■ カウント オンリー モード

```
カウント オンリー モード
                                0 0 0 0 0
```

状態：カウントオンリーモードで動作中です。

### ■ スキャン カノウ

```
スキャン カノウ
                                0 0 0 0 0
```

状態：スキャナが使用可能です。このままの状態でも10分間何も操作されないとスリープモードに移行します。

### ■ スキャンチュウ...

```
スキャン チュウ...
                                x x x x x
```

状態：スキャン中です。

### ■ スリープチュウ...

```
スリープ チュウ...
```

状態：スリープモードに移行しています。どれかキーを押すと復帰します。

### ■ シバラクオマチクダサイ

```
シハラク オマチクダサイ
```

状態：スキャナが処理中です。表示が変わるまでお待ちください。

### ■ 01 : XXXXXXXX

```
0 1 : X X X X X X X X
```

状態：スキャナがジョブモードになっています。[Start] ボタンを押してスキャンを行なうか、[Stop] ボタンを押してジョブモードを解除します。(→ P.22 「ジョブ機能について」)

## エラーメッセージ

表示パネルに以下のメッセージが表示された場合、本機にエラーが発生しています。対処方法に合わせて処理を行ってください。

### ■ カバーガ アイテマス

```
カハカ アイテマス
                                C x x x
```

エラーコード：C001

原因：フィーダが開いています。

対処：フィーダを閉じてください。

エラーコード：C002

原因：フィーダカバーが開いています。

対処：フィーダカバーを閉じてください。



## ■ カミガ ツマリマシタ

カミカ° ツマリマシタ  
P x x x

エラーコード：Pxxx

原因：紙詰まりです。

対処：詰まっている原稿を取り除いてください。  
(→ P.32)

## ■ キュウシニ シッパイシマシタ

キュウシニ シッパ° イシマシタ  
A x x x

原因：フィーダで給紙エラーが発生しました。

対処：原稿を確認し、やり直してください。給紙エラーが続けて表示される場合は、フラットベッドでスキャンしてください。

## ■ ソウシン シッパイ

ソウシン シッパ° イ

原因：ジョブ機能で画像データをソウシンする際の送信エラーです。

対処：ジョブ登録ツールで設定を確認してから、スキャンし直してください。詳しくはユーザーマニュアル機能詳細編「ソフトウェア編」の「第7章 ジョブ登録ツールの設定」を参照してください。

## ■ コンサイヲ ケンチシマシタ

コンサイヲ ケンチシマシタ  
J x x x

原因：解像度 600dpi で読み込み中に、サイズが異なる原稿を検知しました。

対処：原稿のサイズを確認してから、スキャンし直してください。サイズが異なる原稿をスキャンしたときにこのメッセージが表示されたときは、スキャナ設定で原稿混載モードを [オン] にすることでエラーメッセージが表示されなくなります。

## ■ サービスコールエラー

サービ° ス コール エラー  
E x x x x x x x

エラーコード：E2020001

原因：輸送用ビスが取り付けられたままになっています。

対処：電源を切り、輸送用ビスを取り外してください。  
(→ P.2)

エラーコード：E2250101

原因：裏面の読み取りセンサーの光量が不足しています。

対処：電源を入れ直すと、「ドウジヨミハ ムコウデス」というメッセージが表示されます。(→ P.50「ドウジヨミハ ムコウデス」)

エラーコード：E4000100

原因：背面のケーブルが外れています。

対処：電源を切ってから、背面のケーブルを確認し、外れているケーブルを接続してください。(→ P.4「本体背面のケーブルの確認」)

エラーコード：Exxxxxxx (上記以外のエラーコード)

原因：スキャナの内部エラーです。

対処：電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示されるときにはエラーコードを控えて、担当サービスに連絡してください。

## ■ ドウジヨミハ ムコウデス

トウシヨミハ ムコウデス

**原因：**「サービスコールエラー E2250101」(裏面の読み取りセンサーの光量不足)が表示された後にスキャナの電源を入れ直した状態です。

**対処：**原稿の裏面の光量不足により、両面同時スキャンが無効になっています。操作パネルの任意のキーを押すと、エラー表示が解除されてスキャンできるようになります。お買い求めの販売店または担当サービスにエラーメッセージを連絡し、裏面の読み取りセンサーを交換してください。

## 2. 困ったときは

スキャナを使用するときに起こりうるトラブルと対処方法について説明します。

### トラブルの種類

トラブルには以下のような現象が考えられます。

- 電源が入らない (→ P.51)
- 「シバラク オマチクダサイ」の表示が消えない (→ P.51)
- スキャナが認識されない (USB 接続の場合) (→ P.51)
- スキャナが認識されない (SCSI 接続の場合) (→ P.52)
- スキャンできない (→ P.52)
- スキャン速度が遅い (→ P.53)
- 正しく給紙されない (→ P.53)
- 保存した画像ファイルが開けない (→ P.54)
- スキャン結果がおかしい (→ P.54)
- 表示パネルが正常に表示されない (→ P.55)
- ジョブ機能が正常に動作しない (→ P.55)

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または担当サービス、サービス窓口にご相談ください。

### 現象と対処方法

#### ■ 電源が入らない

スキャナの電源が入らない時は最初に次のことを確認してください。

- ✓ 電源コードが正しく接続されているか？
- ✓ 電源プラグがコンセントに差し込まれているか？

#### ■ 「シバラク オマチクダサイ」の表示が消えない

背面のケーブルの接続を確認し、電源を入れ直してください。  
電源を入れ直しても表示が消えないときは担当サービスに連絡してください。

シハ<sup>ク</sup> ラク オマチクダ<sup>ク</sup> サイ

#### ■ スキャナが認識されない (USB 接続の場合)

USB 接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

**原因** お使いのUSBインターフェースにスキャナが対応していない

**対処方法** 本製品は、すべてのUSBインターフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

**原因** USBケーブルがスキャナが対応していない

**対処方法** 同梱のUSBケーブルをお使いください。

**原因** USBハブを使用している

**対処方法** USBハブを取り外してお使いください。

**原因:** SCSIターミネータがオンになっていない

**対処:** USB接続で使用する場合でも、SCSIターミネータがオンになっていないと正常にスキャンできないことがあります。SCSIターミネータは必ずオンにしてお使いください。

## ■ スキャナが認識されない (SCSI 接続の場合)

SCSI 接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？
- ✓ お使いの SCSI カードが正常に動作しているか？
- ✓ PCの電源をオンにしてからスキャナの電源をオンにしているか？

### ❗ 重要

SCSI の場合、スキャナの電源を後からオンにすると PC が正常に認識できない場合があります。

その他、以下のような原因が考えられます。

---

原因	お使いのSCSIインターフェースにスキャナが対応していない
----	-------------------------------

対処方法	推奨の SCSI カードをお使いください。
------	-----------------------

---

原因	SCSI ID の重複
----	-------------

対処方法	デジチェーン接続で使用している他の SCSI 機器と SCSI ID が重複しないように設定してください。
------	-------------------------------------------------------

---

原因	SCSI ターミネータの設定ミス
----	------------------

対処方法	本機と PC の間に SCSI 機器を接続する場合、間に入れる SCSI 機器のターミネータは必ずオフに設定してください。
------	---------------------------------------------------------------

---

原因	デジチェーン接続による不具合
----	----------------

対処方法	デジチェーン接続を中止してお使いください。
------	-----------------------

---

## ■ スキャンできない

読み取りの操作を行ってもスキャンできないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

---

原因	ISIS/TWAIN ドライバとジョブ登録ツールが正常にインストールされていない
----	------------------------------------------

対処方法	ISIS/TWAIN ドライバとジョブ登録ツールをアンインストールして、インストールを最初からやり直してください。
------	-----------------------------------------------------------

---

原因	他のアプリケーションがスキャナドライバを使用している
----	----------------------------

対処方法	起動中のアプリケーションを終了させてください。
------	-------------------------

---

原因	スキャナ設定の高条件の組み合わせによるメモリ不足
----	--------------------------

対処方法	使用中のアプリケーションを終了し、再起動後にスキャン設定を変更してからやり直してください。
------	-----------------------------------------------

---

### ❗ 重要

システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10 秒以上待ってからスキャナの電源をオンにしてください。その後、エラーが続けて発生するようなときは、スキャナとコンピュータを再起動してください。

## ■ スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは最初に次のことを確認してください。

USB インターフェースが Hi-Speed USB2.0 の速度を得られていない環境では、スキャン速度が低下します。

- ✓ USB インターフェースに USB Full-Speed (USB 1.1 相当) を使用していないか？
- ✓ USB ケーブルは同梱品 (Hi-Speed USB2.0 に対応) を使用しているか？
- ✓ USB ハブで USB 1.1 相当のデバイスを同時に使用していないか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	他のアプリケーションが起動している
対処方法	起動中のアプリケーションを終了させてください。
原因	ウイルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している
対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMP フォルダに一時ファイルを作成できない
対処方法	ハードディスクのファイルを整理して空き容量を増やしてください。

## ■ 両面スキャン時に、原稿の両面を同時にスキャンしない

両面スキャン時に、原稿の両面を同時にスキャンしない(片面ずつスキャンされる)場合は、次のことを確認してください。

- ✓ ユーザーモードの「リョウメンドウジヨミ」が「ON」に設定されているか？
- ✓ 長尺モードを「ON」に設定していないか？

### ❗ 重要

裏面の読み取りセンサーの光量が不足している場合、両面同時スキャンは無効になります。(→ P.49)

## ■ 正しく給紙されない

原稿が正しく給紙されないときは、最初に次のことを確認してください。

- ✓ 静電気などで原稿が密着していないか？
- ✓ スキャナが対応していないサイズや紙厚、紙質の原稿を使用していないか？ (→ P.15 「原稿について」)
- ✓ ローラーが汚れていないか？
- ✓ ローラーが磨耗していないか？

### ❗ 重要

- 原稿が密着していると重送の原因になったり、紙厚や紙質によっては紙詰まりの原因になります。原稿をセットする前には、原稿をよく確認してからセットしてください。
- ローラーは消耗品です。ローラーを清掃しても改善が見られないようなときは、お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象：	フィーダでスキャンできない
原因：	ISIS/TWAIN ドライバの【読み取り面】の設定が【フラットベッド】になっている
対処：	【読み取り面】の設定を【フラットベッド】以外に設定してください。

## ■ 保存した画像ファイルが開けない

CapturePerfect 3.0で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ 開こうとしたアプリケーションがCaptureperfect3.0で保存した画像ファイル(\*.bmp、\*.tif、\*.jpg、\*.pdf)に対応しているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

---

原因	マルチページ TIFF ファイルに対応していない
対処方法	マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開いてください。または、CapturePerfect 3.0で保存する TIFF ファイルをシングルページ TIFF ファイルで保存してください。

---

原因	CapturePerfect 3.0 で設定する圧縮形式に対応していない
対処方法	CapturePerfect 3.0で画像ファイルを開き、圧縮形式を[なし]にして保存し直してください。

---

## ■ スキャン結果がおかしい

スキャンした画像がおかしかったりするときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定が適切でない場合が多くあり、また、お使いのアプリケーションによっては、本機の機能に対応していないためにスキャンした画像がおかしくなる場合があります。

---

現象	スキャンした画像が濃い（または薄い）
原因	明るさの設定が適正な値になっていない。
対処方法	画像が濃いときは明るさの設定値を高く、画像が薄いときには明るさの設定値を低く調整してください。

---

---

現象	原稿の裏面の文字が写り込む
原因	明るさの設定値が低い。
対処方法	明るさの設定値を高くします。
原因	紙厚が薄い
対処方法	複写機で原稿をコピーしてからスキャンします。

---

現象	両面スキャンができない
原因	読み取り面の設定が【片面】になっている
対処方法	読み取り面を【両面】にてスキャンします。読み取り面の設定を【白紙スキップ】にすると、白紙の面の画像が保存されません。

---

現象	スキャンした画像の周りに黒い枠ができる
原因	指定したサイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がズレている。
対処方法	用紙サイズの設定を【自動検知】にしてスキャンしてください。

---

現象	スキャンした画像がななめになる（斜行）
原因	原稿ガイドの位置が原稿より広がっています。
対処方法	原稿ガイドの位置を原稿の幅に合わせます。

---

現象	画像にスジや汚れが入る
原因	読み取りガラスやローラーが汚れています
対処方法	フィーダ内部の読み取りガラスおよびフィーダ内部のローラを清掃してください。(→ P.38 「日常のお手入れ」) 読み取りガラスにキズが付いている場合にも画像にスジが入る原因になります。このようなときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

---

現象	原稿によって画像が異常になる
原因	黒枠消しなどの検知機能を有効にしてスキャンした原稿の中に、原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれている（原稿の端を正常に処理できない）
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれているときは、検知機能をオフにしてスキャンするか、原稿を分けてスキャンしてください。

現象	アプリケーションによって画像が異常になる
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した
対処方法	自動サイズ検知などの設定は、アプリケーションが対応していない場合があります。このような機能を使用してスキャンした場合、スキャン結果が異常になることがあります。 アプリケーションによって画像が異常になるときは、検知機能をオフにしてスキャンしてください。

### ■ 表示パネルが正常に表示されない

以下のような現象と原因が考えられます。

現象	表示パネルが英語で表示される
原因	ユーザーモードで英語表示に設定されている
対処方法	ユーザーモードで日本語表示に設定してください。

現象	表示パネルが暗い
原因	表示パネルの明るさが正しく調整されていない
対処方法	ユーザーモードで [ガメンコントラスト] を調整してください。

### ■ ジョブ機能が正常に動作しない

ジョブのデータはコンピュータに保存されています。ジョブ機能が正常に動作しないときは、次のことを確認してください。

- ✓ コンピュータの電源がオンになっているか
  - ✓ コンピュータとスキャナが正しく接続されているか
- その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象	Jobキーを押してもジョブタイトルが表示されない
----	--------------------------

原因	ジョブ設定ツールでジョブを登録していない。
対処方法	ジョブ設定ツールでジョブを登録してください。詳しくはユーザーマニュアル機能詳細編「ソフトウェア編」の「第7章 ジョブ登録ツールの設定」を参照してください。

現象	ジョブを選択しStartキーを押してもジョブ機能が動作しない
----	--------------------------------

原因	Windowsのイベント機能が正しく設定されていない
----	----------------------------

対処方法	Windowsのイベント機能で [DR-7090C Job Tool] が起動するように設定されていない
------	------------------------------------------------------

現象	ジョブを選択しStartキーを押してもスキャンが行われず「ソウシン シッパイ」というエラーメッセージが表示される
----	----------------------------------------------------------

原因	1) ISIS/TWAIN ドライバを他のアプリケーションで使用している
----	--------------------------------------

原因	2) フィーダによる給紙が指定されているのに、フィーダに原稿がセットされていない
----	------------------------------------------

対処方法	1) ISIS/TWAIN ドライバを使用しているアプリケーションを終了させてください。
------	----------------------------------------------

対処方法	2) フィーダに原稿をセットして、スキャンし直してください。
------	--------------------------------





# 第5章 付 録

1. 仕様 .....	58
本体仕様.....	58
消耗品.....	59
外形寸法図.....	60
2. 保証とアフターサービス .....	61
保証とアフターサービス.....	61
サービス&サポートのご案内.....	61
保守サービスのご案内.....	62
3. 索引.....	64

# 1. 仕様

## 本体仕様

形式 卓上型フィーダ付フラットベッドスキャナ

### 原稿サイズ

幅: 139.7 ~ 298.1mm

長さ: 128 ~ 431.8mm

128 ~ 630mm(長尺モード)

### 原稿厚さ

#### 白黒原稿

• 片面原稿 42 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.06 ~ 0.15mm)

• 両面原稿 50 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.07 ~ 0.15mm)

• 白黒/カラー原稿混載時 50 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.07 ~ 0.15mm)

#### カラー原稿

64 ~ 128g/m<sup>2</sup> (0.08 ~ 0.15mm)

432mmを超える原稿

60 ~ 90g/m<sup>2</sup>

### 給紙方法

フィーダ/フラットベッド

### 読み取り方法

3ライン CCD、CIS

光源 キセノン管

### 読み取り面

片面、両面

### 読み取りモード

白黒、アドバンスドテキストエンハンスメント、アドバンスドテキストエンハンスメント II、誤差拡散、256 階調グレー、24 ビットカラー

### 読み取り解像度 (主走査×副走査)

600 × 600dpi/ 400 × 400dpi/ 300 × 300dpi/

240 × 240dpi/ 200 × 200dpi/ 150 × 150dpi/

100 × 100dpi

### 読み取り速度 (A4 横送り)

	片面	両面	
白黒	200dpi	70 枚 / 分	88 面 / 分
	300dpi	70 枚 / 分	88 面 / 分
	400dpi	50 枚 / 分	48 面 / 分
	600dpi	50 枚 / 分	48 面 / 分
グレー	200dpi	70 枚 / 分	88 面 / 分
	300dpi	70 枚 / 分	88 面 / 分
	400dpi	50 枚 / 分	48 面 / 分
	600dpi	50 枚 / 分	48 面 / 分
カラー	200dpi	70 枚 / 分	88 面 / 分
	300dpi	70 枚 / 分	88 面 / 分
	400dpi	50 枚 / 分	48 面 / 分
	600dpi	24 枚 / 分	22 面 / 分

### 自動給紙積載量

最大約100枚 (80g/m<sup>2</sup>) または積載高さ13mm以下

### インターフェース

SCSI-III / Hi-Speed USB2.0

### その他の機能

自動原稿サイズ検知、ドロップアウトカラー、カウントオンリモード、ジョブ機能

寸法 618 (幅) × 602 (奥行き) × 317 (高さ)mm

質量 約 41kg

電源 AC100V (50/60Hz)、222W

## 消費電力

動作時：最大 222W

スリープモード時：3.5 W 以下

騒音 72dB 以下

## 使用環境

温度：15℃ -30℃

湿度：25%-80%RH

- 上記の機能はお使いのアプリケーションソフトウェアで対応している場合に使用できます。
- お使いのコンピュータの性能やソフトウェアによっては実現しない場合があります。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

---

## 消耗品

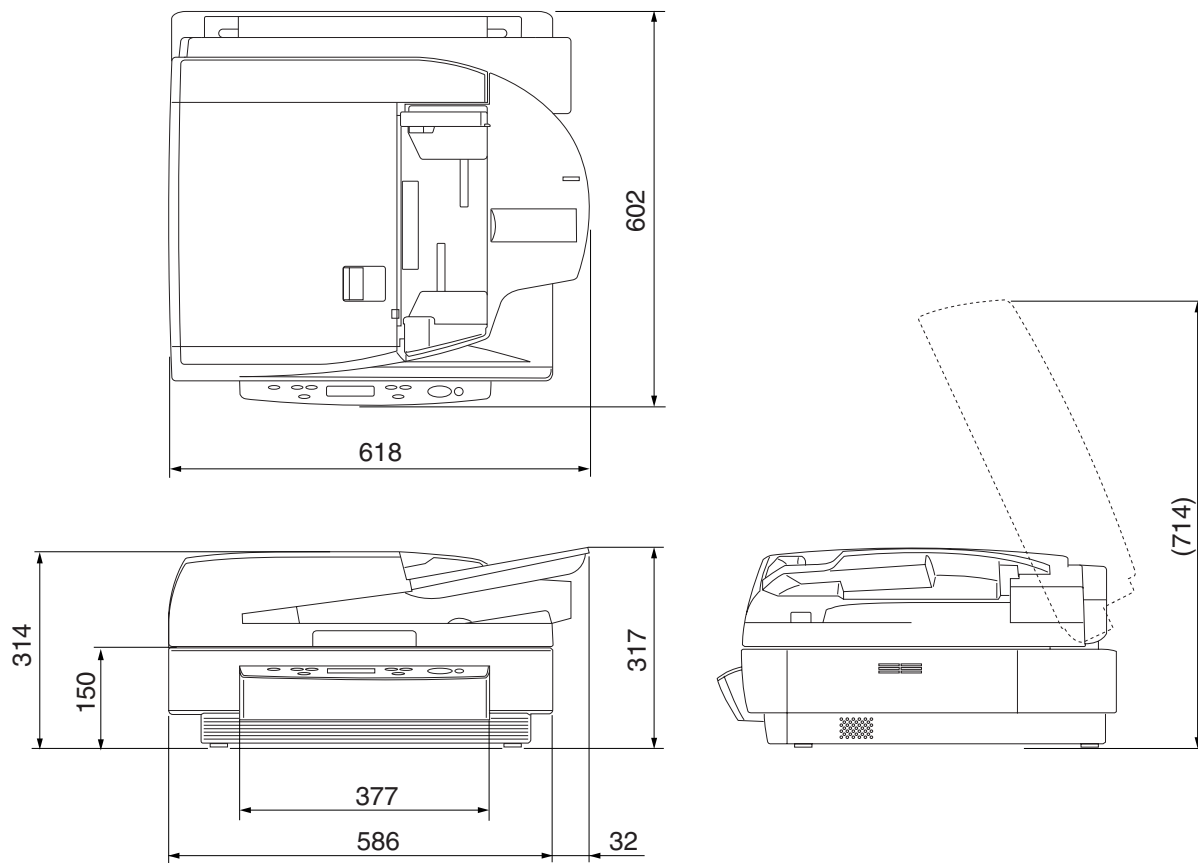
### クリーニングペーパー

フィーダ内の原稿読み取り部を清掃するときに清掃具に取り付けるクリーニングペーパーです。

- オプション品および消耗品についての詳細はお買い求めになった販売店または担当サービスにお問い合わせください。

# 外形寸法図

(単位：mm)




## 2. 保証とアフターサービス

### 保証とアフターサービス

- この商品には保証書がついています  
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 保証期間  
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 修理サービスのご相談  
修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店またはお客様さま相談センターへご相談ください。
- 修理を依頼される前に  
「困ったときは」(→ P.51) にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。
- 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと
  - ー お客様のお名前
  - ー ご住所、お電話番号
  - ー 商品の品番
  - ー 故障の内容 (できるだけ詳しく)
- 補修用性能部品について  
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### サービス&サポートのご案内

- お客様相談センター  
取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター  050-555-90072  
全国共通電話番号  
受付時間：<平日>9:00~12:00 / 13:00~17:00  
(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。)

- ※ 上記番号は 050 から始まる IP 電話 (株式会社エヌ・ティ・ティエムイー (NTT-ME) の XePhion Call Direct) を利用しています。  
NTT の固定電話 (一般回線) から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金 (10.4 円 / 3 分) でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承願います。
- ※ お客さまが 050 から始まる IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP 電話からのご利用は、IP 電話事業者間の接続状況によります。NTT-ME の XePhion Call Direct の上記番号との通話 (接続) 可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP 電話からつながらない場合の事象 (話中音、アナウンス、ブザー音など) はプロバイダーによって異なります。また、IP 電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

#### ● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

#### ● キヤノンホームページ <http://canon.jp/>

※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。

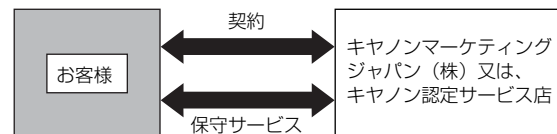
## 保守サービスのご案内

### ● ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただきドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

### ■ キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



### ● 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

## ■ キヤノン保守契約制度のメリット

- 都度の修理料金は不要  
保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。  
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。
  - 保守点検の実施  
お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。  
(別途、有料となります。)
- ※ 天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。  
※ 消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

## ■ 購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。  
キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

### 3. 索引

---

#### あ

アース端子 .....	11
圧着板 (黒) .....	10

#### い

イベント機能 .....	24
--------------	----

#### う

浮き上がり防止プレート .....	3, 10
-------------------	-------

#### お

オプション .....	59
-------------	----

#### か

外形寸法図 .....	60
開閉検知センサ .....	10
開閉レバー .....	10
カウントオンリーモード .....	35
各部の名称 .....	10
紙づまり	
原因 .....	34
処理 .....	32
画面コントラスト .....	35

#### き

自動給紙 .....	21
給紙方法 .....	19
自動給紙 .....	21
標準給紙 .....	19

#### け

原稿 .....	15
種類 .....	15
セット .....	16
原稿給紙トレイ .....	10
原稿セット表示 .....	10
原稿排紙トレイ .....	10

#### こ

こんなときは .....	47
--------------	----

#### さ

サポート .....	61
------------	----

#### し

仕様 .....	58
省電力モード .....	35
消耗品 .....	59
ジョブ機能 .....	22
ジョブ登録ツール .....	23
ジョブモード .....	23

#### す

スキャナの移動 .....	5
スライドガイド .....	10

#### せ

清掃	
圧着板 .....	39
原稿台ガラス .....	39
電源プラグ .....	45
フィーダ部 .....	40
本体 .....	38
設置場所について .....	2

#### そ

操作パネル .....	10, 12
-------------	--------

#### た

ターミネータ .....	11
--------------	----

#### つ

通気孔 .....	10, 11
-----------	--------

#### て

ディップスイッチ .....	11
電源コネクタ .....	11
電源スイッチ .....	10, 14
電源について .....	3

#### に

日常のお手入れ .....	38
日常の取り扱い .....	6

#### は

パネル給紙 .....	20
-------------	----



<b>ひ</b>	
表示パネル .....	12
標準給紙 .....	19
<b>ふ</b>	
フィーダ .....	16
フィーダカバー .....	10
フラットベッド .....	17
フラットベッド (原稿台ガラス) .....	10
<b>ほ</b>	
保証とアフターサービス .....	61
<b>ま</b>	
マニュアルの構成 .....	iv
<b>ゆ</b>	
ユーザーモード	
機能 .....	35
設定方法 .....	36
輸送用ビス .....	2
<b>よ</b>	
読み取り部清掃具 .....	10, 43
<b>り</b>	
両面同時読み取り .....	36
<b>E</b>	
Enter キー .....	12
<b>J</b>	
Job キー .....	12
<b>M</b>	
Menu キー .....	12
<b>N</b>	
New File キー .....	12
<b>S</b>	
SCSI ID .....	11
SCSI コネクタ .....	11
Set キー .....	12
Start キー .....	12
Stop キー .....	12
<b>U</b>	
USB コネクタ .....	11

# Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER